2026年11月5日

ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD.

会 社 説 明 資 料

２０２６年１１月版

November 2026 Presentation Material

Tokyo Stock Exchange PRIME section STOCK CODE：9619

JPX-NIKKEI Mid Small

目次

01 イチネングループについて

会社概要　P.4
事業概要　P.5
沿革　P.6

02 イチネングループが向かうところ

イチネングループの強み、連結業績の推移　P.8
資本コスト、資本収益性の推移　P.9
PBR向上に向けた対策　P.10
イチネングループ経営方針　P.15
イチネングループ成長戦略　P.16

03 イチネングループの事業紹介

自動車リース関連事業　P.20
ケミカル事業　P.26
パーキング事業　P.29
機械工具販売事業　P.32
合成樹脂事業　P.35
アグリソリューション事業　P.38

04 決算報告・今期計画

２０２７年３月期 2Q連結業績　P.42
２０２７年３月期 計画（連結）P.48

05 株主還元について

配当方針、株価の推移　P.51

06 参考資料

参考資料　P.54

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 3.イチネングループの事業紹介

04 4.決算報告・今期計画

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

会社概要



商号	株式会社イチネンホールディングス ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD
設立年月日	1963年 （昭和38年） 5月7日
本社所在地	大阪市淀川区西中島四丁目10番6号
代表者	代表取締役社長　黒田　雅史(くろだ まさし)
上場	東証プライム（証券コード：9619）
資本金	2,529百万円（2026年3月31日現在）
売上高	162,254百万円（2026年3月期連結実績）
決算月	３月
従業員数	連結2,067人（2026年3月31日現在）
経営理念	当社は、最高の品質とサービスで、より多くの顧客に満足を与え、適正な利潤を確保することにより、株主および従業員に報い、且つ社会に奉仕することを経営の基本理念とする。
グループスローガン	いちねんで、いちばんの毎日を。 当社は、一日、一日が最高の毎日（いちねんで、いちばんの毎日）となるように、グループの製品やサービスを通じて皆様に快適さをご提供するとともに、SDGｓ、脱炭素等の環境に配慮した製品・サービスの開発を進め、持続可能で豊かな社会に貢献できる事業の拡大を目指してまいります。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

事業概要



Agri Solutions
アグリソリューション



Other
その他

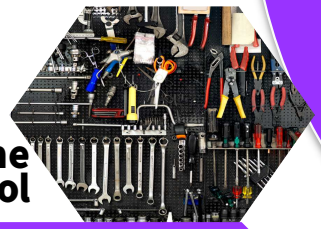
※連結売上構成比率（2026年３月期）



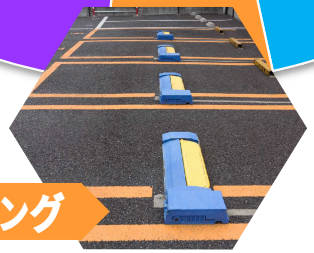
Synthetic Resin
合成樹脂



Automotive Leasing
自動車リース関連



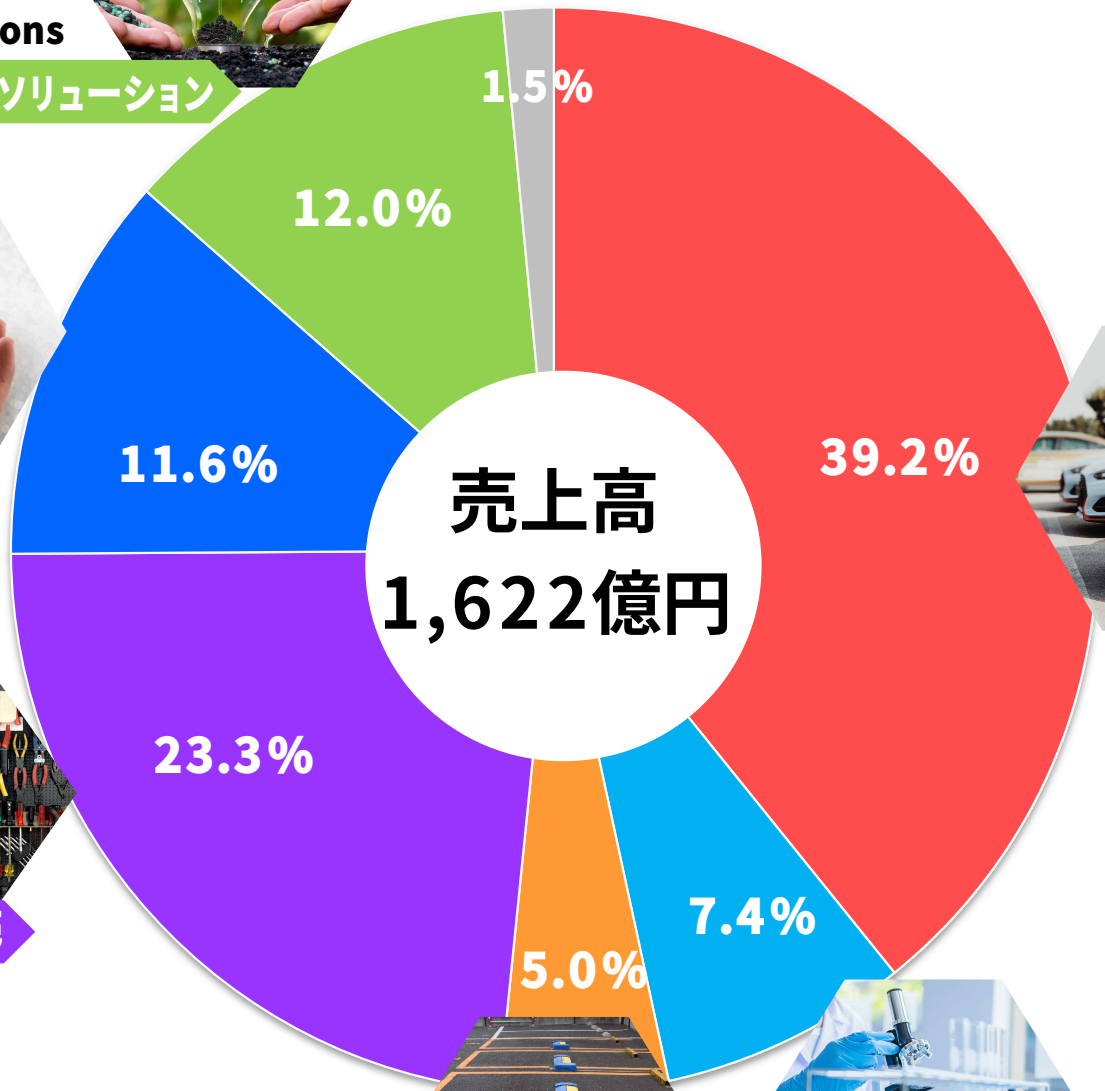
Machine tool
機械工具販売



Parking
パーキング



Chemical
ケミカル



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

沿革

イチネングループは石炭販売から新たな可能性を追求し、
多様な事業を通じて、時代とともに発展してまいりました。

1930

創業

石炭から石油へ転換



1930　黒田重太郎商店を創業、石炭販売業を開始
1963　黒田商事㈱設立、EMGマーケティング(同)と販売代理店契約締結



1969~

自動車関連分野に参入

自動車分野を中心に成長



1969　商号を㈱イチネンに変更、自動車リース業を開始
1980　自動車メンテナンス受託事業を開始
1994　大阪証券取引所市場第二部（旧：新二部）上場
2000　野村オートリース㈱、アルファオートリース㈱をグループ会社化
2002　パーキング事業を開始
2004　㈱コーザイをグループ会社化、自動車・産業用ケミカル事業に参入
2005　東京証券取引所市場第一部、大阪証券取引所市場第一部上場
2006　タイホー工業㈱をグループ会社化、㈱コーザイと合併し、㈱タイホーコーザイ(現 ㈱イチネンケミカルズ)に商号変更





2008~

多角化経営へ

自動車の変革を見据え、新たな事業へ参入



2008　持株会社体制へ移行、 商号を㈱イチネンホールディングスに変更
㈱イチネンパーキング営業開始（パーキング事業部を新設分割）
2009　黒田雅史が代表取締役社長に就任
2012　前田機工㈱(現 ㈱イチネンアクセス)をグループ 会社化し、機械工具販売事業に参入。
㈱ジコー(現 ㈱イチネン製作所)をグループ会社化し、合成樹脂事業に参入





2013

各事業の強化

M&Aを通じた事業多角化の強化

2013　タスコジャパン(現 ㈱イチネンTASCO)をグループ会社化し、機械工具販売事業を強化
2014　㈱ミツトモ製作所(現 ㈱イチネンアクセス)をグループ会社化し、機械工具販売事業を強化
2015　東電リース㈱をグループ会社化、㈱イチネンTD　リースに商号変更
2016　㈱イチネン農園を設立し、農業に参入
野村オートリース㈱とアルファオートリース㈱が、野村オートリース㈱を存続会社として合併



2017　グループの物流業務効率化を目的とし、株式会社イチネンロジスティクスを設立。
㈱イチネンケミカルズ 研究開発センターを移転(神奈川県藤沢市)
2018　昌弘機工㈱ (現 ㈱イチネンアクセス)及び㈱トヨシマ (現 ㈱イチネンMTM)をグループ会社化し、機械工具販売事業を強化
2019　㈱イチネンとイチネンBPプラネット㈱が、㈱イチネンを存続会社として合併
㈱イチネン前田と㈱イチネンミツトモ、㈱ゴンドー、㈱ イチネンSHOKO、㈱トヨシマが、㈱トヨシマを存続会社として合併し、㈱イチネンMTMに商号変更
㈱イチネン農園の事業の一部を会社分割し、㈱イチネン 高知日高村農園を設立
㈱アクセス （現 ㈱イチネンアクセス） をグループ会社 化し、機械工具販売事業を強化
2020　㈱浅間製作所 （現 ㈱イチネン製作所） をグループ会社化し、合成樹脂事業を強化

現在

2021　新光硝子工業㈱、新生ガラス㈱をグループ会社化し、 ガラス加工事業に参入
2022　㈱オートリをグループ会社化し、パーキング事業を強化
㈱イチネンMTMの事業の一部を㈱アクセスへ吸収分割により 継承し、㈱アクセスは㈱イチネンアクセスへ商号変更
㈱イチネンジコーと㈱浅間製作所は、㈱浅間製作所を存続会社として合併し、㈱イチネン製作所へ商号変更
東京証券取引所市場再編に伴い、プライム市場に移行
2023　㈱イチネンパーキングと㈱オートリは、㈱オートリを存続会社として合併し、㈱イチネンパーキングへ商号変更
マルイ工業㈱と日東エフシー㈱をグループ会社化し、合成樹脂事業・アグリソリューション事業を強化



2025　日石硝子工業㈱をグループ会社化し、ガラス加工事業を強化
㈱イチネンと野村オートリース㈱が、㈱イチネンを存続会社として合併
2026　新生ガラス㈱と日石硝子工業㈱が、新生ガラス㈱を存続会社として合併
持分法適用関連会社であった太陽肥料㈱の株式を追加取得し、完全子会社化することで、アグリソリューション事業を強化。
三菱商事アグリサービス㈱(現 ㈱イチネンMAC)及びエムシー・ファーティコム㈱をグループ会社化し、アグリソリューション事業を強化。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 3.イチネングループの事業紹介

04 4.決算報告・今期計画

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

イチネングループの強み、連結業績の推移

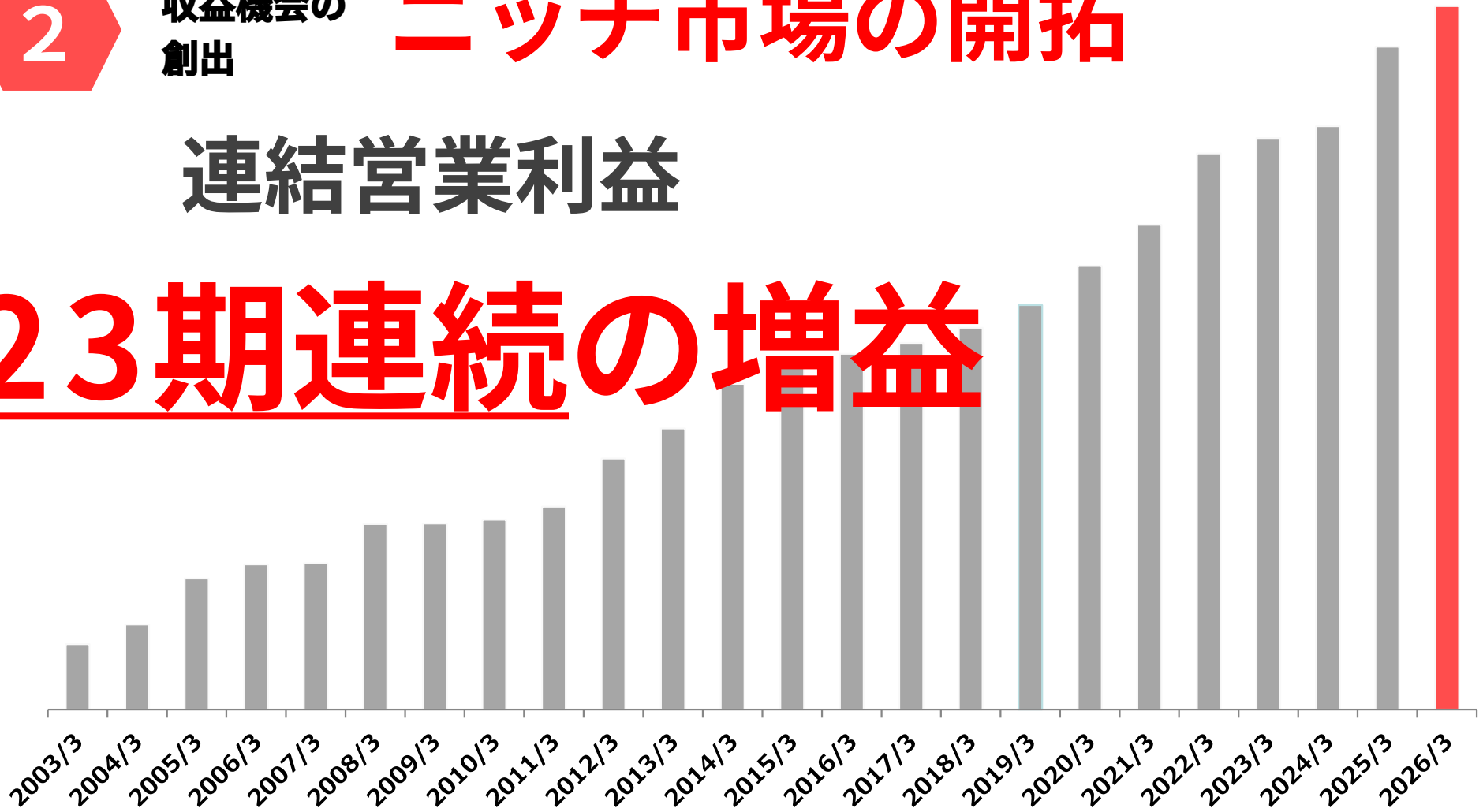
1 単一事業に偏らない **多角化経営**

2 収益機会の創出 **ニッチ市場の開拓**

連結営業利益

109億円

前年同期比6.3%増

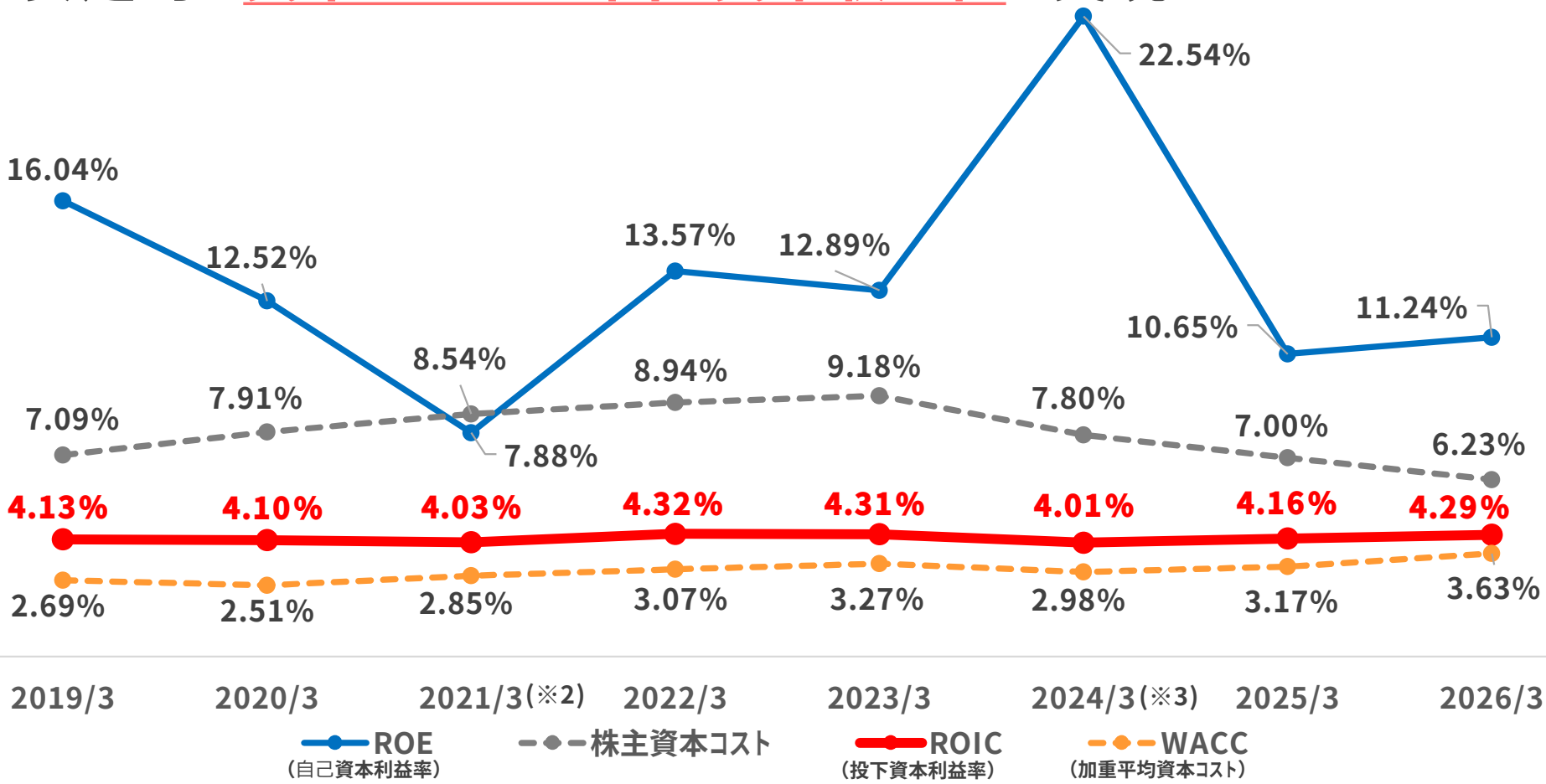


23期連続の増益

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

資本コスト、資本収益性の推移

ROEが株主資本コストを、ROICがWACC を上回っており安定的に資本コストを上回る資本収益性を実現（※1）



(※1) WACCの負債コストの算定には、資本市場による再調達金利の算定方法を採用しております。また、2024年3月期より、リスクフリーレートについては10年国債利回りを採用しております。（2023年3月期以前は30年国債利回りを採用）

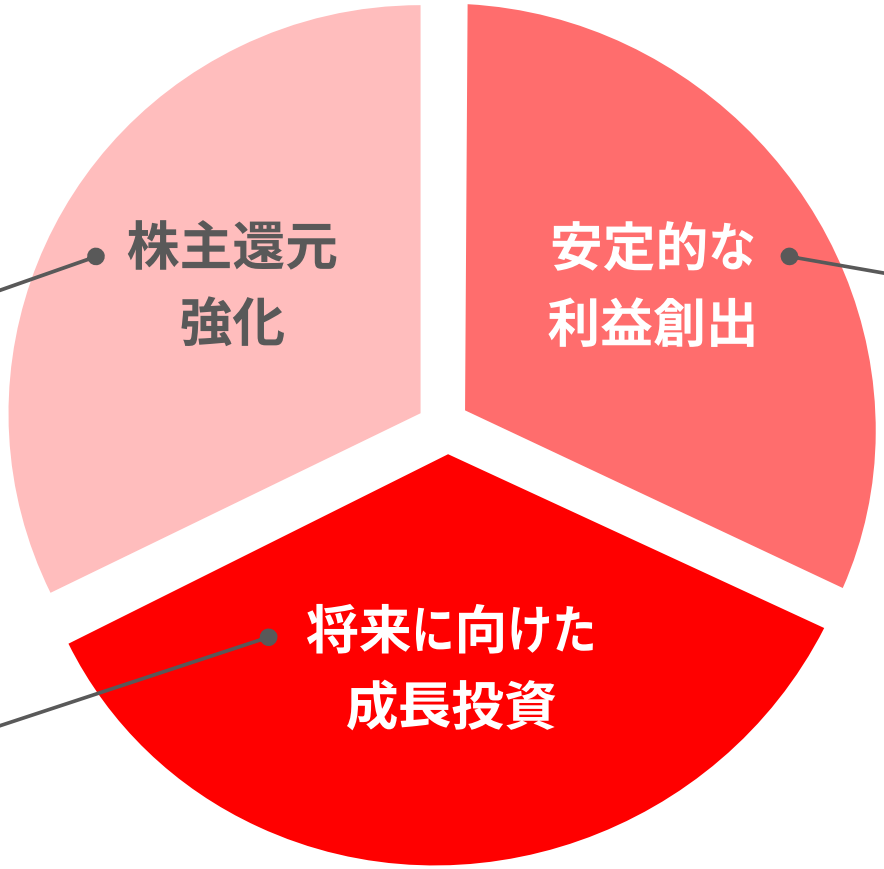
(※2)2021年3月期は、自動車リース関連事業の基幹システム開発中止等に伴う固定資産除売却損を計上したことにより、一時的にROEが低下しました。

(※3)2024年3月期は、M&Aに伴う「負ののれん発生益」の計上により大幅にROEが上昇しておりますが、「負ののれん発生益」の影響を除外したROEは10.85%となります。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

PBR向上に向けた対策

イチネングループのPBR改善策　３本柱



継続的な
増配を実施
（詳細P.51）

収益基盤事業による
安定的な利益創出
（詳細P.11）

◆自動車リース関連事業

成長事業への重点投資（詳細P.12～14）

◆パーキング事業（高成長かつ高収益）
◆海外事業

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

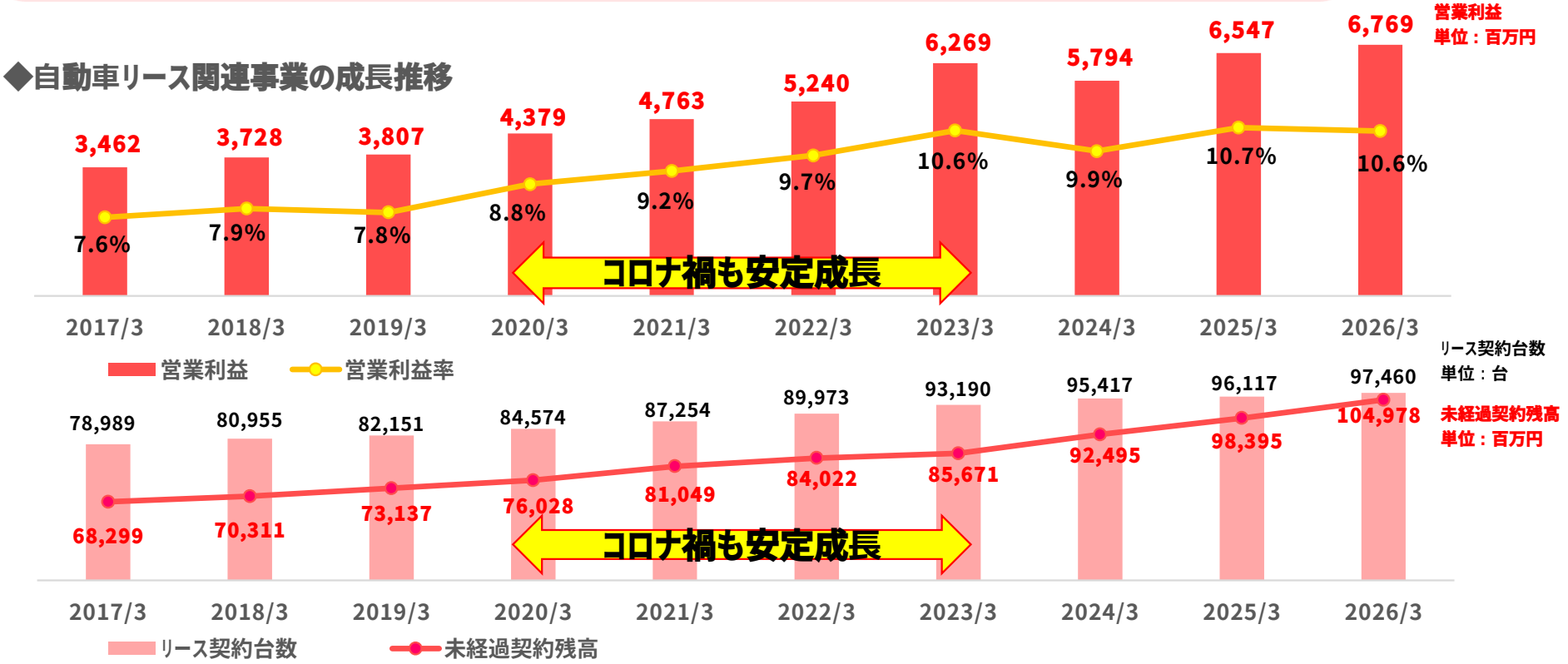
安定的な利益創出

自動車リース関連事業は、グループの収益基盤事業として
今後も規模拡大に注力し、**安定的な利益創出を実現します**

POINT

- 安定的な利益成長により、**グループの盤石な収益基盤を形成**
- EV化が進んでも、リース契約台数は今後も継続伸長が見込める
- 収益基盤事業の安定的な利益をベースに、**成長事業への投資を加速**
- コロナ禍においても**安定した業績を維持・成長**

◆自動車リース関連事業の成長推移



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

将来に向けた成長投資

①パーキング事業への積極投資

高成長かつ高収益なパーキング事業に積極投資を実施

■**駐車場の新規設備投資**による稼働率向上

キャッシュレス決済、フラップレス駐車場の導入を加速し、利便性向上による顧客獲得、稼働率の向上に繋げる

■**M&Aによる事業規模拡大**

2022年3月に㈱オートリ(2023年4月にイチネンパーキングと合併)を子会社化

②海外事業への投資拡大

海外売上高比率20%の達成に向け、積極的な取り組みを実施

■**注力地域、期待地域**での事業拡大（詳細はP13）

※注力地域：タイ、期待地域：バングラデシュ、モンゴル

■**M&Aの更なる強化、スピードアップ**

➢海外に一定の事業基盤を持つ国内企業のM&Aを推進

➢当社事業と親和性のある海外企業のM&Aを検討

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

将来に向けた成長投資～海外事業への投資拡大～

グループ拠点 **4か国**（タイ、アメリカ、中国、ニュージーランド）

グループ会社 **7社** ※非連結含む

◆タイ

TASCO THAILAND 【機械工具販売事業】
MARUI SUM / MARUI INDUSTRY 【合成樹脂事業】
ICHINEN CHEMICALS (THAILAND) 【ケミカル事業】

◆ニュージーランド

ICHINEN AUTOS NZ 【自動車リース関連事業】

◆アメリカ

ICHINEN USA 【機械工具販売事業】

◆中国

蘇州豊島機械配件有限公司 【機械工具販売事業】

海外戦略

■**注力地域:タイ**における既存事業の拡大

➢空調工具の独自ブランド「TASCO BLACK」の商品ライン拡充・開発強化
➢グループ商材のタイにおける拡販（タイ合弁会社の有効活用）

■**期待地域:バングラデシュ、モンゴル**における新規事業展開

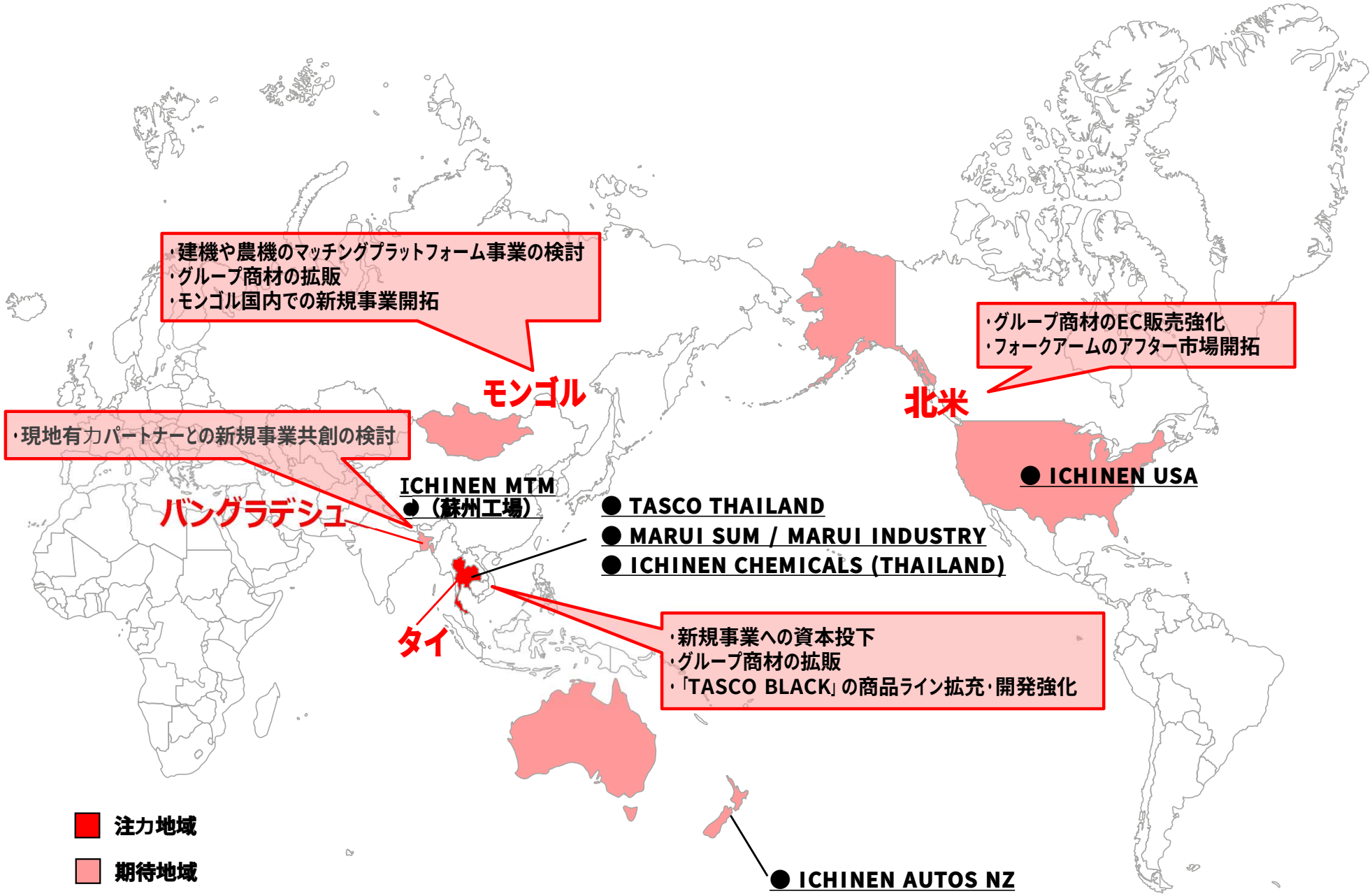
➢バングラデシュでは、現地有力パートナーとの新規事業共創の検討
➢モンゴルでは、新規事業展開の検討及びグループ商材の輸出販売の推進

直近の進捗

✓ 2023年10月：自動車用内外装部品の製造・販売を行うタイの子会社2社を含む**マルイ工業**がグループ入り
✓ 2025年8月：タイでのイチネンケミカルズ製品の売上拡大を目的に、**ICHINEN CHEMICALS(THAILAND)** を設立
NEW 2026年9月：バングラデシュでの新規事業創出を目的に、**現地有力パートナーと合弁会社設立に向けた合弁契約書を締結**

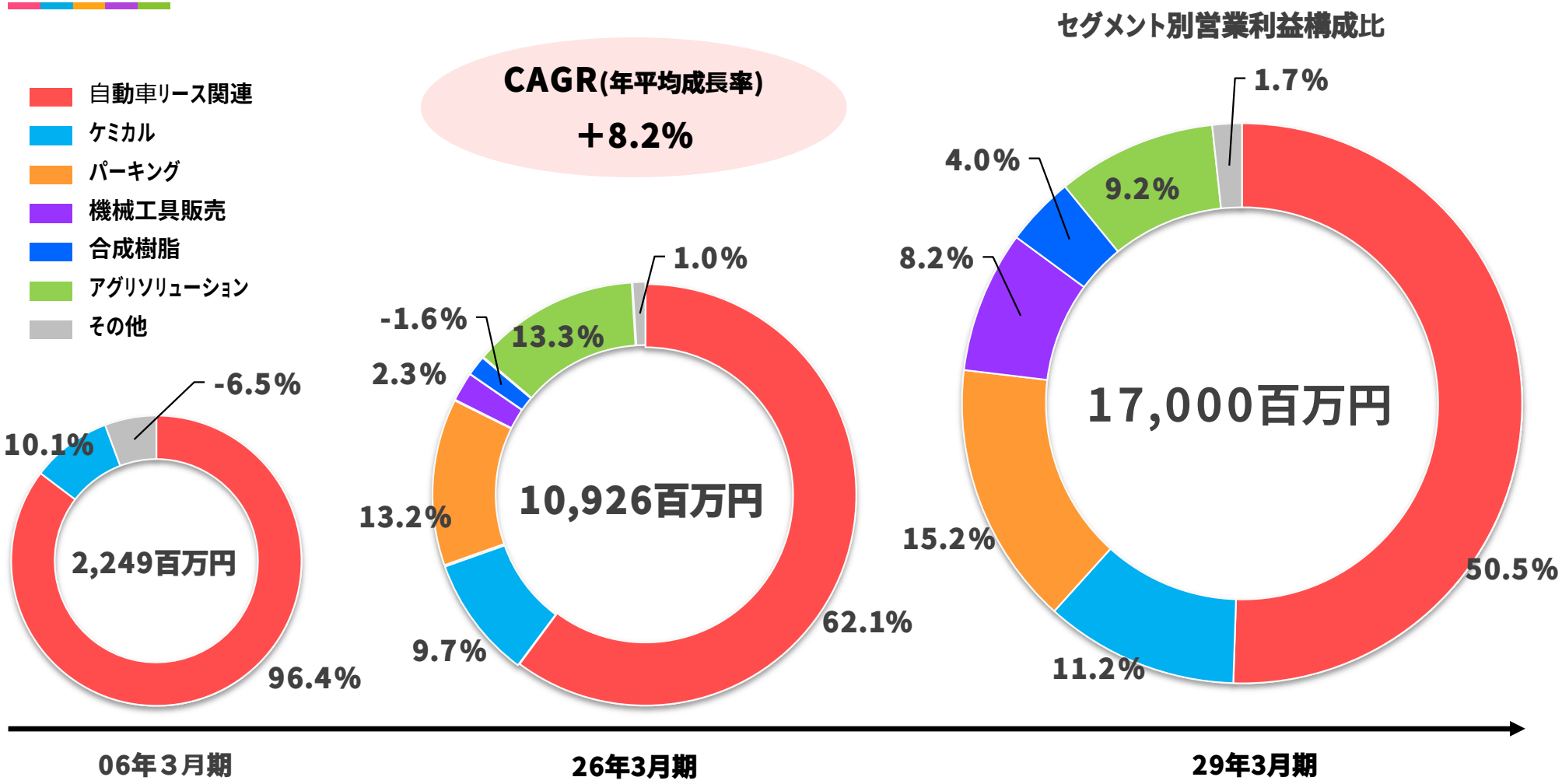
Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

将来に向けた成長投資～海外事業への投資拡大～



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

イチネングループ経営方針～中期目標～



経営方針

- **既存事業**：自動車リース関連に次ぐ事業の柱の育成
  （各セグメントの成長による収益源の分散化）
- **新規事業**：M&A・事業提携等による新規事業領域の拡充
- **財務方針**：財務健全性の維持と成長投資を両立

中期目標

【中期目標】

- **営業利益**：**170億円**
- **自己資本**：**920億円超**
- **自己資本比率**：**40%超**

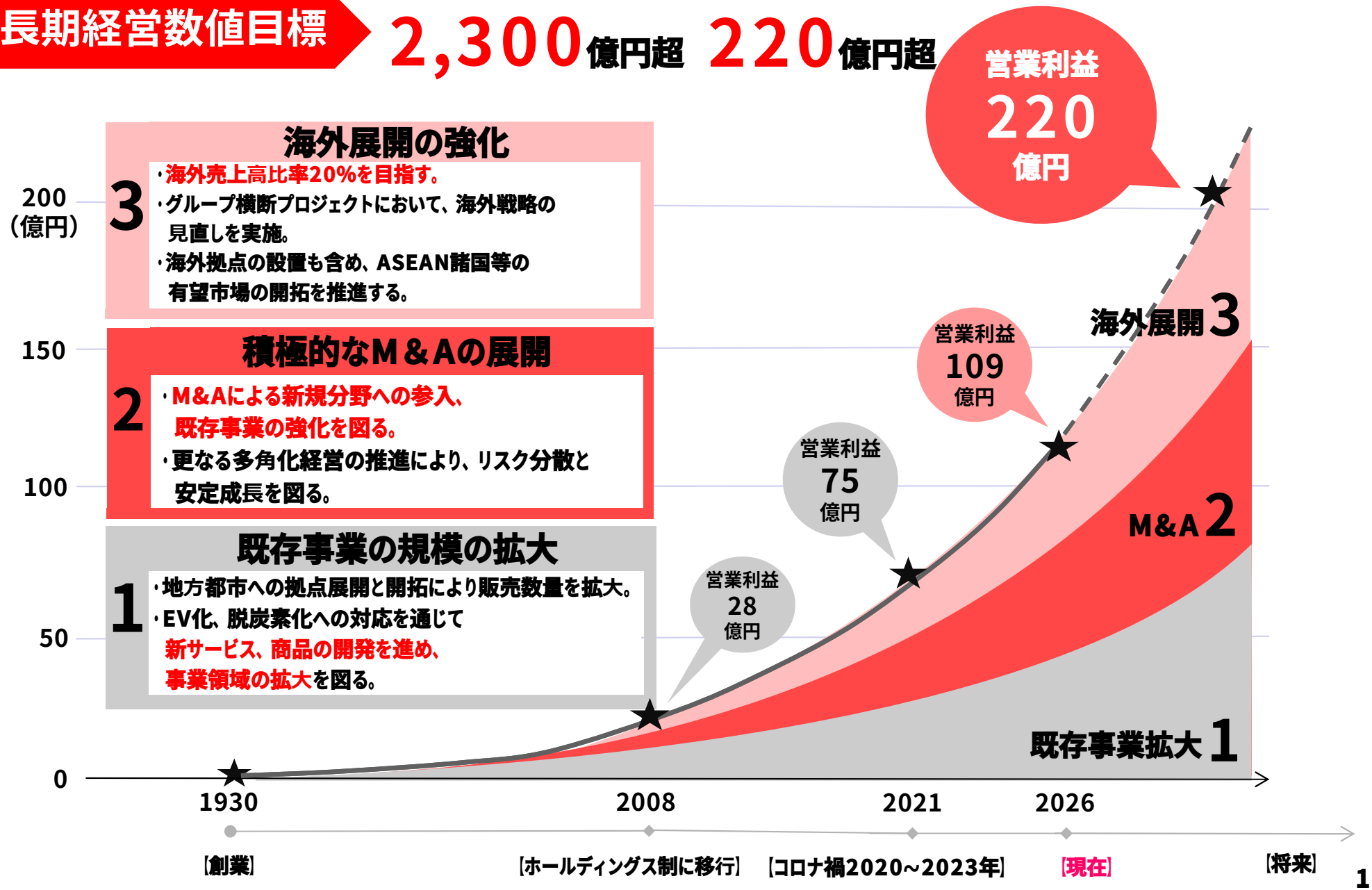
Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略

長期経営数値目標

売上高 **2,300億円超**

営業利益 **220億円超**



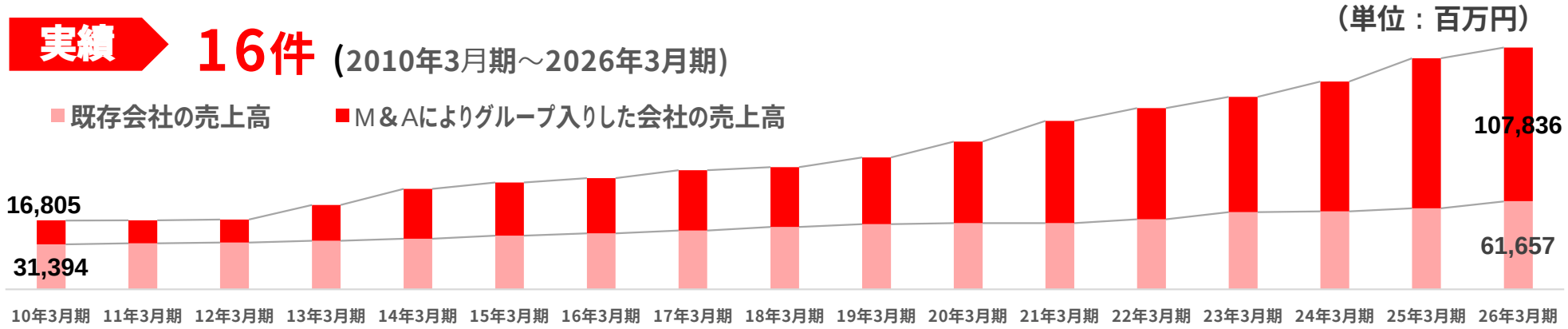
Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

M&A戦略

目的 M&A活用により、事業規模・事業間シナジーの拡大や
海外戦略を加速化させ、コングロマリット・プレミアムを目指す

基準 事業領域を限定せず、グループ入り後ただちに業績に寄与すること

実績 16件 (2010年3月期～2026年3月期)



直近の実績

NEW

アグリソリューション事業の規模拡大

【グループ入り】2026年4月3日

◆太陽肥料株式会社

【事業内容】肥料の製造・販売
【拠点】本社：茨城県神栖市
【プレスリリース】

【グループ入り】2026年6月1日

◆株式会社イチネンＭＡＣ

（旧：三菱商事アグリサービス株式会社）
【事業内容】
肥料原料の輸出入事業、
各種肥料製品・農業資材の販売事業
【拠点】本社：東京都千代田区

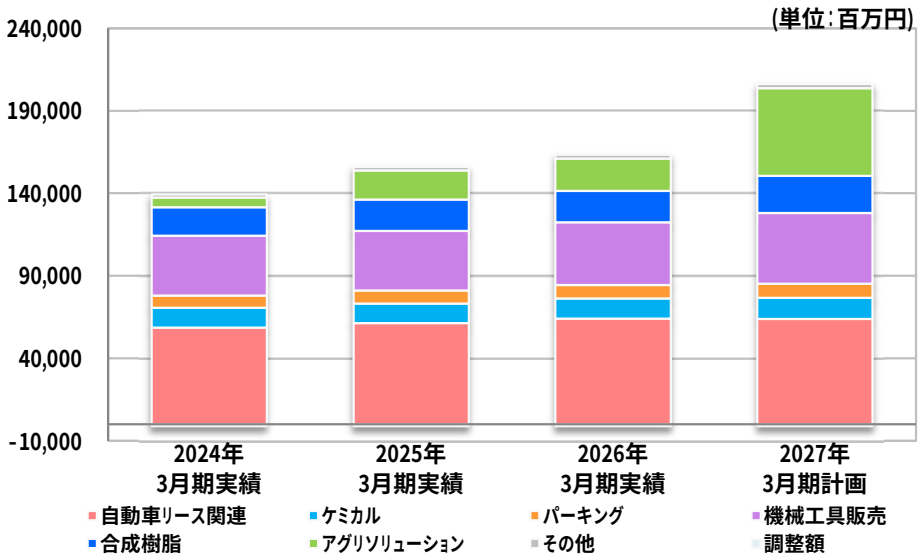
◆エムシー・ファーティコム株式会社

【事業内容】
肥料の製造・販売
【拠点】本社：東京都千代田区
【プレスリリース】

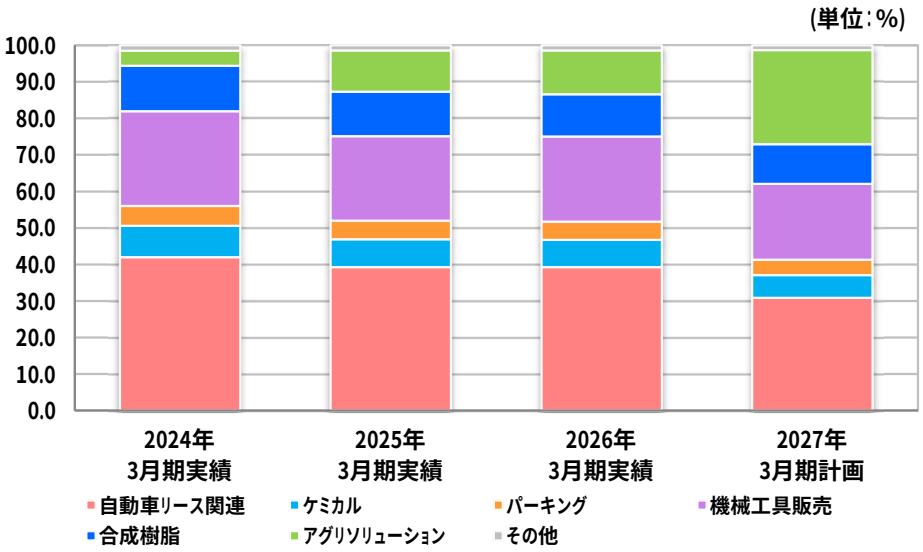
Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

セグメント別売上高／同シェアの推移 (百万円未満切捨)

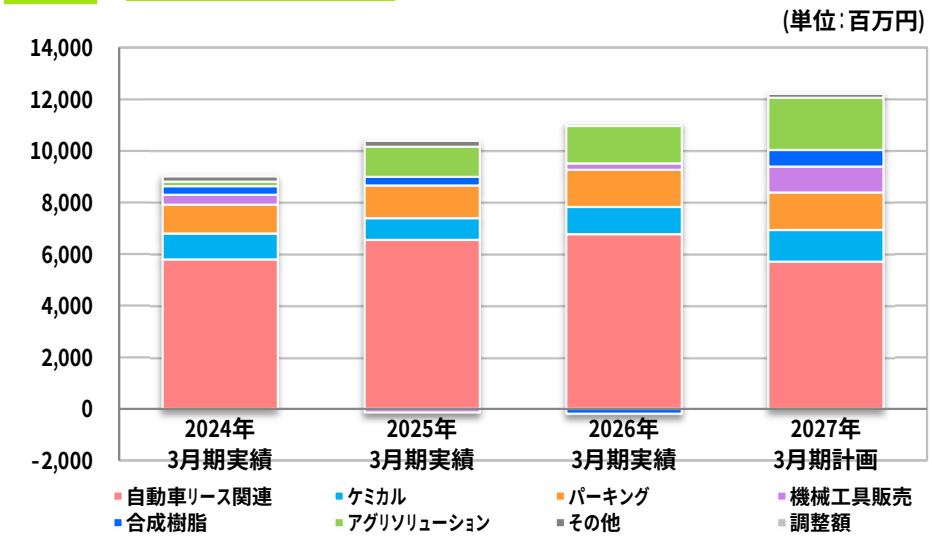
01 セグメント別売上高



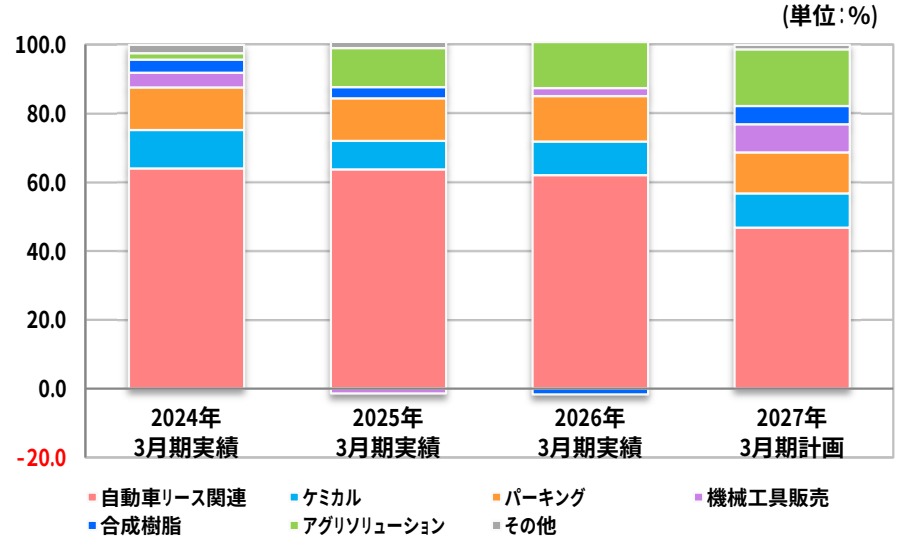
02 セグメント別売上高シェア



03 セグメント別営業利益



04 セグメント別営業利益シェア



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 **3.イチネングループの事業紹介**

04 4.決算報告・今期計画

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

自動車リース関連事業（概要）

自動車リース関連事業



オートリース

・主に法人顧客に対して、メンテナンス付き自動車リースを提供
・車検、法定点検、定期点検、消耗品の交換（タイヤ、バッテリー等）税金保険料等を一つのパッケージにしてお客様に提供

自動車メンテナンス受託

・他のオートリース会社等に対して、メンテナンス付き自動車リースのメンテナンス部分を提供

車両販売

・リース満了車・外部仕入れ車両の販売を行う
・海外を含めた売却ルートの多様化を図り、収益性を向上させる

燃料販売

・主に法人顧客に対して、「燃料給油カード」を販売
・重油等の販売も行う

車体修理管理サービス

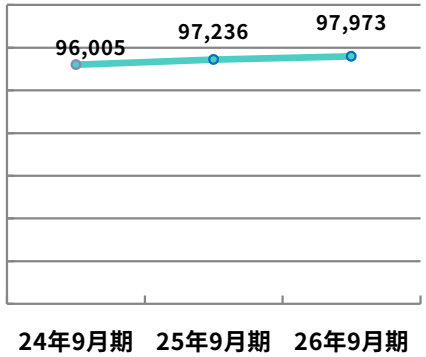
・法人顧客に対して、車体の外装修理サービスを提供

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

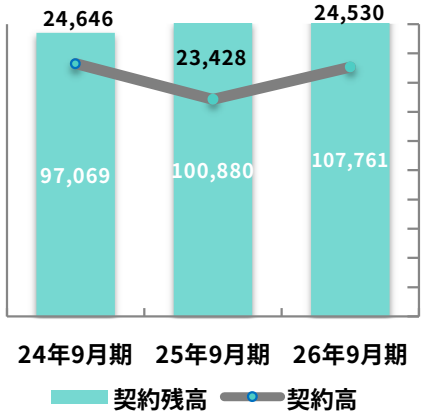
自動車リース関連事業（オートリース）

01 オートリース契約の現状

■契約台数（単位：台）

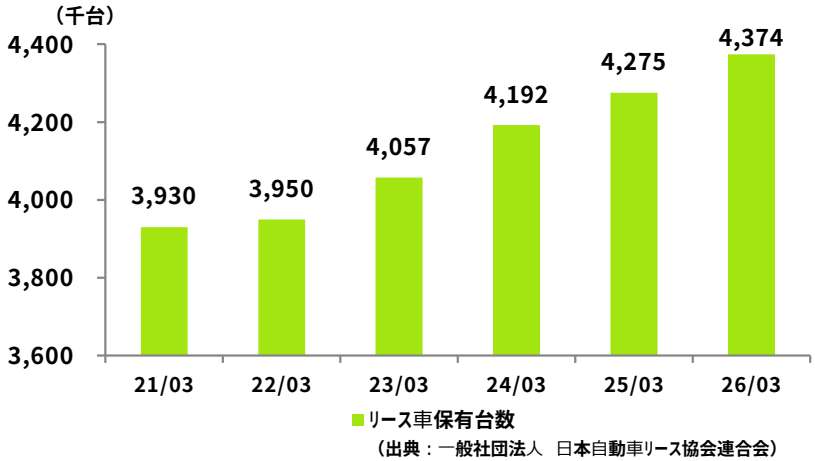


■契約残高・契約高（単位：百万円）



02 市場環境について

■国内のリース車保有台数は堅調に増加
■中小口規模企業はリース化率が低く、開拓余地あり



（出典：一般社団法人　日本自動車リース協会連合会）

03 オートリース事業の戦略

■積極的な拠点展開により台数規模を拡大
⇒競合の少ないエリアを開拓し、収益性を高める



全27拠点体制（※2026年4月1日現在）

■リース満了車の処分利益拡大

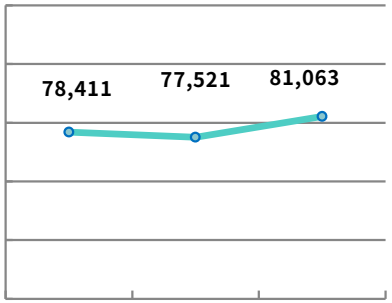


Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

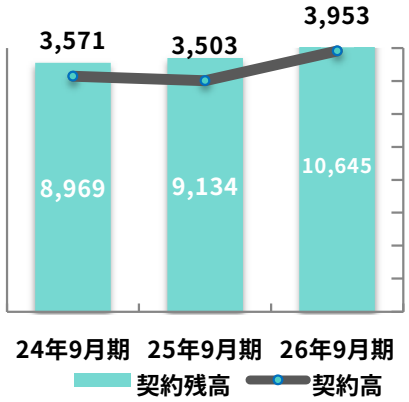
自動車リース関連事業（自動車メンテナンス受託）

01 メンテナンス受託契約の現状

■契約台数（単位：台）



■契約残高・契約高（単位：百万円）



02 メンテナンス受託事業の強み

■高品質なメンテナンスサービス

・全国約9,000社の提携整備工場ネットワーク
・徹底した点検フォローによる、業界屈指の高点検率



サービスネットワーク　全国約9,000社

■様々な付随サービスの提供

・「フォークリフトメンテナンス」等の独自サービス
・顧客であるオートリース会社への営業支援　etc.

・安全性向上
・法令順守
・管理業務省力化



03 今後の課題と対策

■次世代自動車(HV、EV)の整備ネットワーク構築

⇒ 提携工場の知識や技術力の向上により
整備環境を整え、メーカー系整備工場と併せて
メンテナンス体制を整えております！



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

自動車リース関連事業（車両販売）

01 車両販売事業の戦略

■従来のスキーム

中古車販売
（リースアップ車　外部仕入車）

→ 国内オートオークション及び業者販売

→ 中古車市場へ
→ 海外へ
→ 解体へ

■これからの中古車販売方法

→ ICHINEN AUTOS (N.Z.) LIMITED



☞従来のオークションに比重を置いた処分方法から、業販を含めた処分ルートの多様化を図り、
ICHINEN AUTOSを含む海外への輸出も積極的に進め、リース・メンテナンスに次ぐ第三の事業の柱として育てる

02 トピックス

・ICHINEN AUTOS(N.Z.)がEAGLE AUTO SERVICES 社を子会社化

⇒ ICHINEN AUTOSは、ニュージーランドのオークランド市において輸入車両検査業務（コンプライアンスセンター業務）を行っているEAGLE AUTO SERVICES 社を子会社化したことにより、車両の商品化までのリードタイム短縮化を実現し、一層の販売力増強に繋げてまいります。

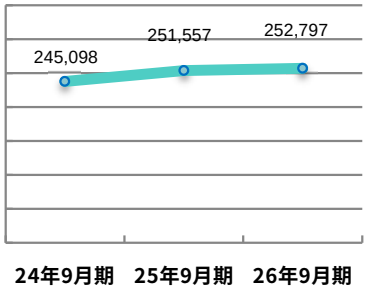


Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

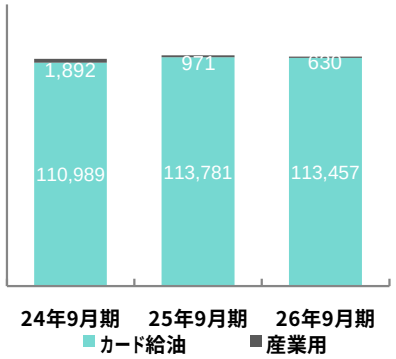
自動車リース関連事業（燃料販売、車体修理管理サービス）

01 燃料販売の現状

■発券枚数（単位：枚）

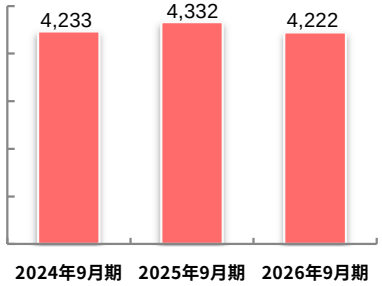


■販売数量（単位：KL）

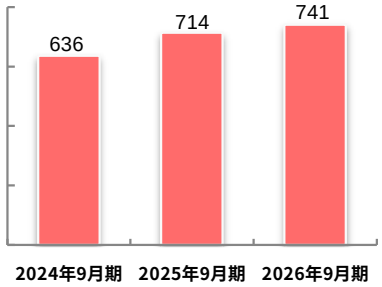


02 車体修理管理サービスの現状

■売上台数（単位：台）



■売上高（単位：百万円）



03 燃料販売の特徴、今後の課題

■特徴

□全国一律の給油価格
□一括請求書の作成
□給油実績データの提供





■今後の課題

□エコカーの普及による給油量の減少

⇒新規顧客を開拓し、販売数量を拡大

□脱炭素社会を見据えた新たな事業モデルの構築

04 車体修理管理サービスの特徴、今後の展開

■特徴

□アジャスター(損害査定士)による鈑金見積金額の適正化



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

自動車リース関連事業（セグメントSWOT分析）

Strengths（強み）

■過去からの整備事業で培った高品質な
メンテナンスサービス(メンテ付リース、メンテ受託)
■地方都市への拠点展開による地域密着営業

S

W

Weaknesses（弱み）

■銀行系、商社系のリース会社と比較して規模の面で劣る

Opportunities（機会）

■国内のリース台数は増加傾向
■中小口規模の法人はリース化率が低く開拓余地あり

O

T

Threats（脅威）

■車の動力源が変わることによるメンテナンス収益の減少
■脱炭素社会におけるクリーンエネルギーへの転換（燃料販売）

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ケミカル事業

PC プロユースケミカル事業部

■自動車整備工場などで使用する補修用ケミカルや
製造業などで使用する潤滑剤、防錆剤やクリーナー等
多種多様な製品を製造販売



・プロユースケミカル事業部の取扱製品群

CC コンシューマーケミカル営業部

■弊社ブランドの「クリンビュー」「ノータッチ」「イオンコート」
など車の維持に不可欠なカーケミカル用品を製造販売



・コンシューマーケミカル営業部の取扱製品群

TC テクノケミカル事業部

■メインの商品は「燃料添加剤」
電力会社の火力発電所等で使用され、燃焼効率向上、
ボイラー炉内の汚れ防止等に効果を発揮



・大型火力発電ボイラーの外観



・クリンカーの堆積した様子

新規 新規事業開発部

■ゴム・樹脂・エラストマー・塗料・繊維加工素材への
機能技術レサイプ・原料販売





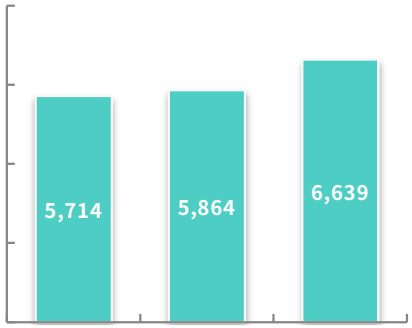
・新規事業開発部の取扱製品群

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

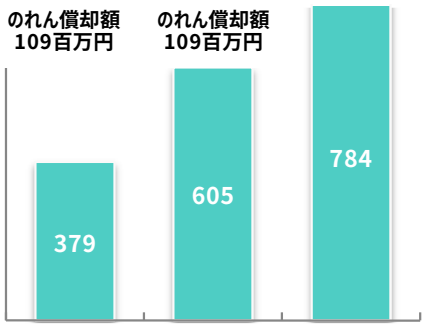
ケミカル事業

01 売上/営業利益の推移

■売上高（単位：百万円）



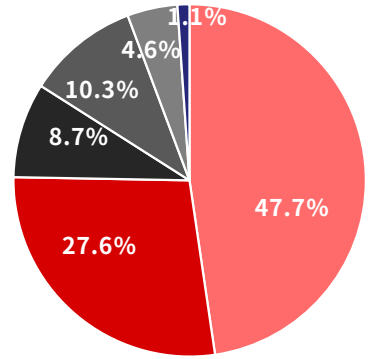
■営業利益（単位：百万円）



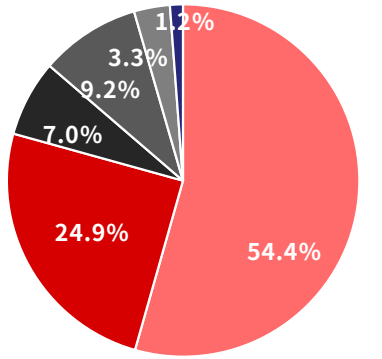
※のれんは2026年3月期で償却済み

02 部門別売上/粗利益シェア

■売上高シェア（2026年3月期）



■粗利益シェア（2026年3月期）



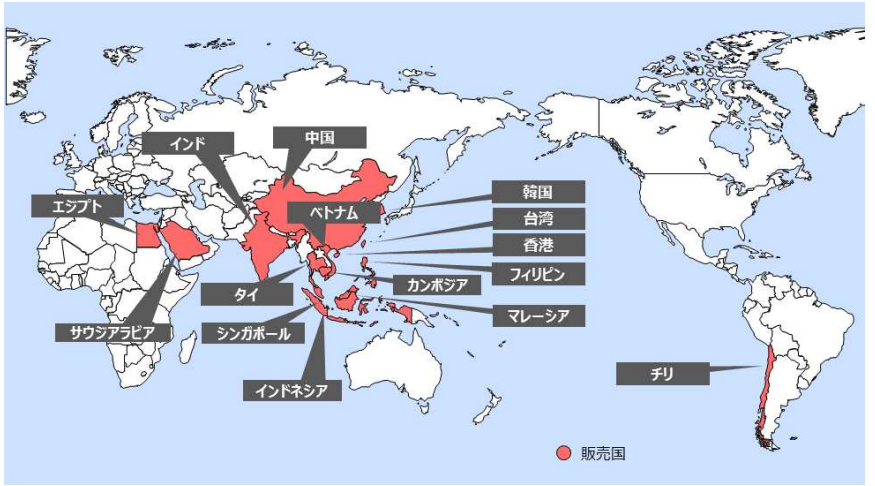
03 今後の課題、重点取り組み項目

◆新たなニッチマーケットへの参入を目指し、次なる事業の柱を構築する

⇒特殊潤滑剤、離型剤、文具関連等の事業拡大

◆脱炭素社会を見据えた環境配慮型製品の開発を加速する ⇒『Green JIP』ブランド等

◆海外展開を加速し、販売地域、販売品目を拡大



ニッチ市場におけるシェアNo.1製品の開発を目指す。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ケミカル事業（セグメントSWOT分析）

Strengths（強み）

■主力製品である燃料添加剤は電力・鉄鋼・製紙業界等で広く採用され、国内で高シェアを維持

■工業・産業用から一般消費者向けケミカルまで幅広い製品群

S

W

Weaknesses（弱み）

■多種多様な製品の開発に対応できる反面、独自技術は多くない

Opportunities（機会）

■脱炭素社会への移行に伴うバイオマス添加剤等の商機拡大

■電力自由化に伴い、新規参入事業者の開拓余地拡大

O

T

Threats（脅威）

■クリーンエネルギーへの転換に伴う既存の主力商材（燃料添加剤等）の需要減少

■一般消費者向けケミカルにおける価格競争の激化

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーキング事業

01 パーキング事業の概要

■コインパーキング

・土地オーナー様から土地を借り上げ、当社がコインパーキングを運営。
・初期投資費用、ランニングコストは全て当社が負担。



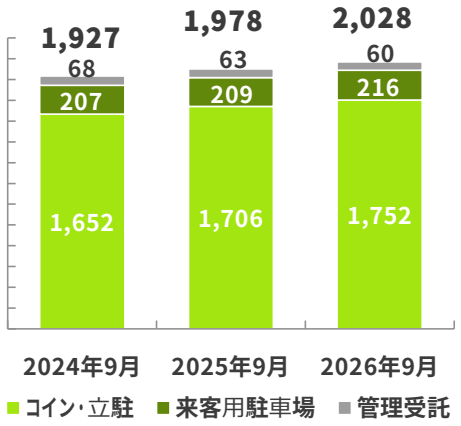


■施設付帯駐車場の管理受託

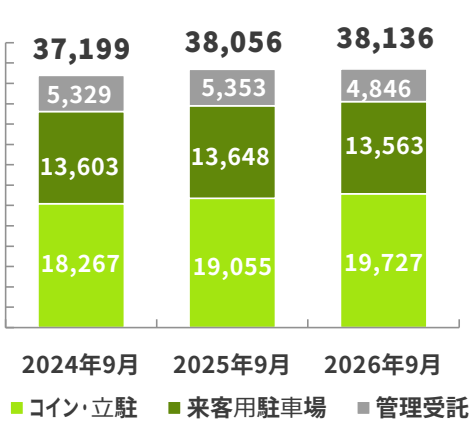
・病院、商業施設等の駐車場の設備投資から運営管理までを当社が受託。

02 箇所数/管理台数の推移

■駐車場箇所数（単位：箇所）

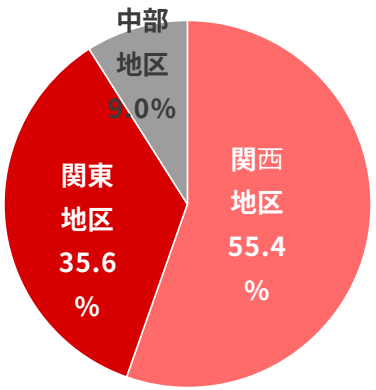


■管理台数（単位：台）

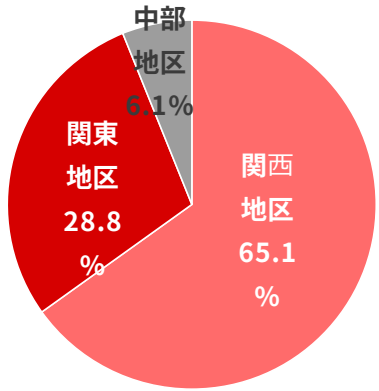


03 地区別契約件数/台数比率

■地区別契約件数比率



■地区別契約台数比率



※東北・九州地区でも一部運営しております。

04 施設付帯駐車場の導入事例



東京科学大学様の駐車場

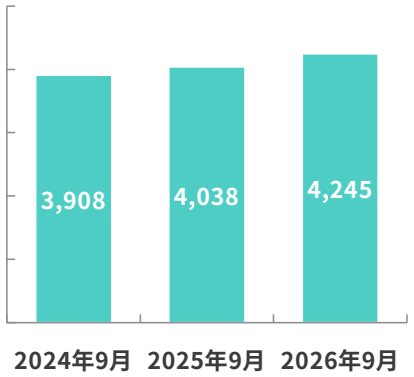
駐車場名	駐車台数
東京科学大学	516台
ジャンボスクエア香芝店（屋上・地下駐車場）	425台
武田総合病院	399台
箕面市立病院	389台
大阪府立急性期・総合医療センター	360台

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

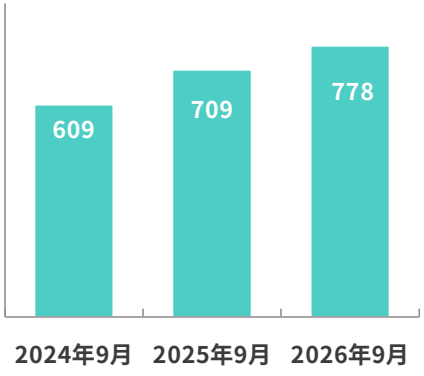
パーキング事業

01 売上/営業利益の推移

■売上高（単位：百万円）

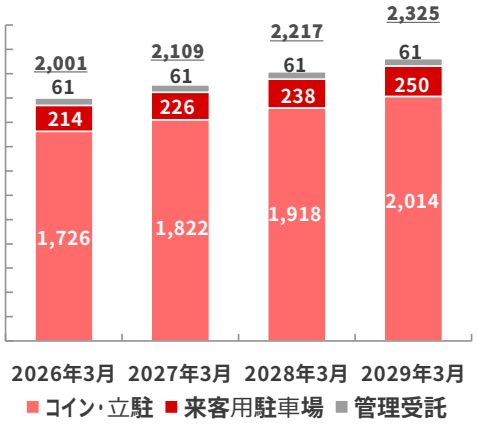


■営業利益（単位：百万円）

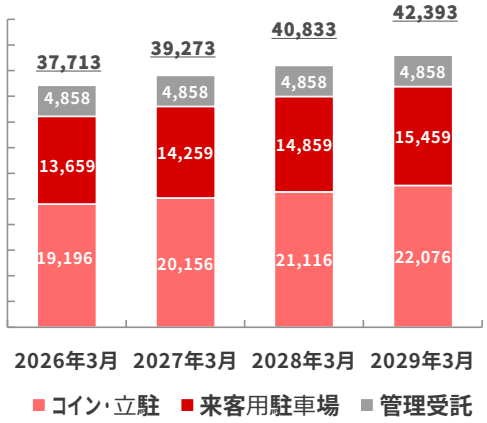


02 箇所数/管理台数計画

■箇所数計画（単位：箇所）



■管理台数計画（単位：台）



03 今後の課題、重点取り組み項目

■規模の拡大（新規開拓）

- 宅建協会、税理士組合等との連携による案件情報収集
- インターネット広告の強化

■既存駐車場の売上拡大、収支改善

- 周辺環境に合わせた、こまめな駐車料金の見直し
- サービス券提携店舗の拡充
- 不採算駐車場の賃料交渉

■サービス品質向上

- 設備の定期点検、駐車場の巡回点検をさらに強化
- キャッシュレス化、フラップレス化、カメラ認証チケットレスシステム導入、老朽化設備のリニューアルを推進。

【中期目標】

■売上高 100億円　■営業利益 20億円

■駐車場箇所数 2,500箇所



ジャンボスクエア香芝店様の駐車場

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーキング事業（セグメントSWOT分析）

Strengths（強み）

■コインパーキングの収益性を高める小回りの利いた販売促進策
■病院等に付帯する立体駐車場の建設から管理運営までを一括して受注するPFI事業

S

W

Weaknesses（弱み）

■同業他社との商品・サービス内容の差別化が図りにくい

Opportunities（機会）

■国内の自動車保有台数増加に伴う駐車場需要の拡大
■自治体や病院等による駐車場の運営委託ニーズの拡大

O

T

Threats（脅威）

■参入障壁が比較的低い事業であり競合社数が非常に多い
■都市部における価格競争の激化

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

機械工具販売事業

01 自動車、産業用機械、空調、個人向けなど幅広い工具の商品開発･販売

株式会社 イチネン アクセス

2022年4月にイチネンMTMの一部事業を吸収分割により継承し、新たにスタート。
各社が培ってきたノウハウを集結し、販売力･商品開発力の強化を図る

自動車用品






･機械工具
･自動車整備用機器



･先端/作業/電動工具
･照明/防犯




株式会社 イチネン MTM

産業･建機部品





株式会社 イチネン TASCO

空調冷凍機器工具業界No.1の売上実績と高い信頼のTASCOブランド


フロン回収機


サーモグラフィー


フロンリークモニター

02 イチネングループ公式通販サイトの運営

株式会社 イチネン ネット



03 お客様満足度向上のための物流サービス事業

株式会社 イチネン ロジスティクス



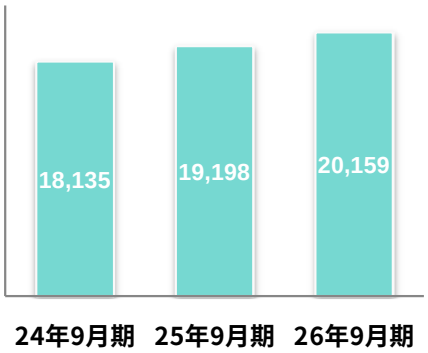



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

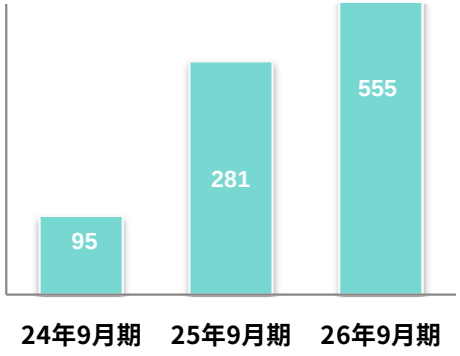
機械工具販売事業

01 売上/営業利益の推移

■売上高（単位：百万円）

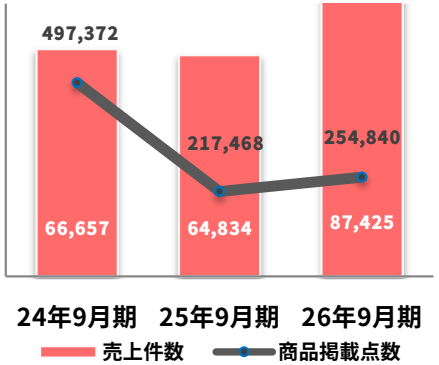


■営業利益（単位：百万円）

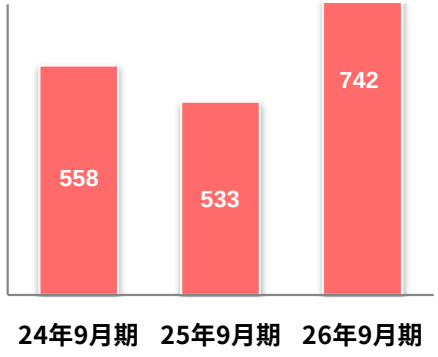


02 ネット通販事業の進捗

■商品掲載点数、売上件数



■売上高（単位：百万円）



03 今後の課題、重点取り組み項目

■オリジナル製品の開発、販売強化による収益性向上

■ネット通販事業のさらなる収益拡大

■脱炭素社会に向けた取扱い商材の拡充

■海外展開の強化

■物流機能の集約による効率化

【中期目標】

■セグメント売上高500億円超を目指し、
業界ランキング10位以内の規模を目指す。





・ASEAN地域向け戦略ブランド「TASCO BLACK」

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

機械工具販売事業（セグメントSWOT分析）

Strengths（強み）

■幅広い商品ラインナップを持ち自社ブランド製品も数多く展開
■TASCOブランドの空調工具は国内トップシェア
■合併により相互の販路を活用したクロスセル等の仕入・販売面で高いシナジーが期待できる

S

Weaknesses（弱み）

■業界上位の会社と比較して事業規模が小さく、バイイングパワーの点で劣る

W

Opportunities（機会）

■脱炭素社会への移行に伴い、空調・冷凍機器における省エネ型自然冷媒への転換が進み、新冷媒に対応した空調工具の需要が拡大
■ネット通販市場の拡大

O

Threats（脅威）

■国内の機械工具市場は飽和状態で大きな成長は見込めない
■海外製品、ネット販売との競合による価格の下落
■自動車の構造変化（EV・FCV化）に伴う自動車部品等の販売減少

T

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

合成樹脂事業

01 合成樹脂事業の事業分野

■株式会社イチネン製作所

■遊技機部品事業

・大手遊技機メーカー様からの開発依頼に対し、企画やデザイン、設計(電気設計含む)、試作、金型製造、成形、量産、販売までを一気通貫で対応が可能。





■合成樹脂事業

・自動車のバンパーなどを再生し、リサイクル樹脂を製造、販売。
又、オリジナル再生樹脂の販売。



ペレット

■科学計測器事業

・大気中の環境チェックに必要な各種ガス濃度計や警報器等を製造、販売する。



ガス検知器



酸素モニター

■マルイ工業株式会社

■自動車用内外装部品事業

・大手日系自動車メーカーにエンブレムを中心とした外装装飾部品及び、レーザー加工技術等によるオーディオエスカッションボタン等の内装部品を日本及びタイで製造・販売。

・これまで培ってきた各種樹脂へのめっき、塗装、印刷等の高度な表面処理技術、成形技術やノウハウを生かし、あらゆる装飾部品のニーズに対応したデザインから設計開発、生産、品質保証まで一貫して製品を提供。



自動車用エンブレム



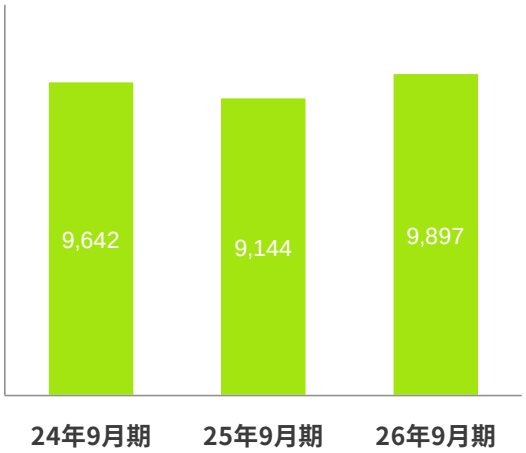
オーディオエスカッション

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

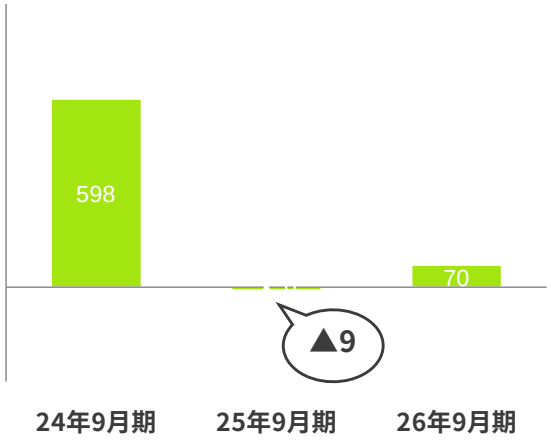
合成樹脂事業

02 売上/営業利益の推移

■売上高（単位：百万円）



■営業利益（単位：百万円）



03 今後の課題、重点取り組み項目

■ 株式会社イチネン製作所

■遊技機部品事業・・・売上、利益の安定化

⇒ 販売台数上位メーカーの筐体部材獲得に注力する。
⇒ 品質・生産管理体制の強化により、収益構造の改革を推進する。
⇒ 次世代型遊技機向けの部材開発、提案力強化を推進する。

新規取組紹介

既存事業で培った技術を生かし「ネクスプライズ事業」を立ち上げ、新規分野（玩具関連等）への挑戦を行っております。



『おふろアクアリウム』

■合成樹脂事業・・・高付加価値材料の拡販

⇒自社で保有する再生技術を強みとし、高付加価値のリサイクル樹脂を拡販する

■科学計測器事業・・・新製品の開発、マーケットシェア拡大

⇒産業マーケットでのシェア拡大に向け、大手メーカーが対応しない領域の新製品開発・販売に注力する。

■ マルイ工業株式会社

■新規顧客の開拓
■製品の更なる生産効率向上・量産化
■海外売上・事業展開の強化
■EV向け部品等の新商品の開発・販売

【中期目標】

■セグメント売上高300億円超を目指す。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

合成樹脂事業（セグメントSWOT分析）

Strengths（強み）

■各事業において、主要大手メーカー（自動車メーカー、遊技機メーカー等）との安定的な取引関係を維持
■製品のデザインから金型設計、成形、特殊加工、組立まで一気通貫の生産体制を構築

S

W

Weaknesses（弱み）

■合成樹脂事業のリサイクル樹脂は仕入れ・販売価格とも市場相場の影響を非常に受け易く変動し易い
■自動車用内外装部品は、完全機械化が難しい工程が多く、省人化が途上である

Opportunities（機会）

■遊技機部品事業の市場は縮小傾向にあるものの、依然として15兆円規模の市場があり、競争に勝ち抜くことで大きな収益を上げることが可能
■自動車用内外装部品事業で培った高い技術力をベースとした非自動車分野の拡販

O

T

Threats（脅威）

■遊技機部品の販売における顧客からのコスト削減ニーズの高まり
■EV化の進展に伴う自動車用内外装部品の需要変化、構造変化への対応が必要

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

アグリソリューション事業

01 アグリソリューション事業の事業分野

■農園事業

■ 株式会社イチネン農園　■ 株式会社イチネン高知日高村農園





高知県の日高村（ミニトマト・パプリカ）と南国市（ピーマン）の2農場で大規模施設園芸を実施。また、農作物の生産に加え地域連携による6次産業化や農業のIT化を推進。

■肥料事業

■ 日東エフシー株式会社

原料調達から製造、包装、出荷まで一気通貫で対応でき、多種多様な肥料を自社で製造・販売。また、栽培ノウハウの知見を活かした農家への栽培指導も実施。




■商社事業

■ 明京商事株式会社

海外肥料メーカー等との直接調達ルートと総輸入販売代理権を強みに、輸入・販売を展開。



NEW

■ 太陽肥料株式会社

原料調達から製造・包装・出荷までを一貫して担う体制と、研究開発・分析設備を備え、多様な肥料の製造・販売を自社で展開。



■ エムシー・ファーティコム株式会社

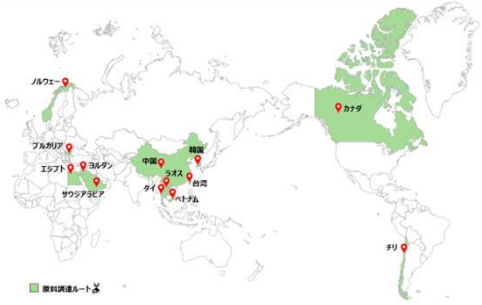
肥料の製造・販売事業を展開し、緩効性肥料・微量要素肥料・有機肥料など多様な機能性肥料を取り揃えるとともに、研究開発施設および試験圃場を通じて市場ニーズに対応した商材開発を行っている。





■ 株式会社イチネンMAC

10か国以上の調達ネットワークと全国の販売ネットワークを背景に、肥料原料の輸出入および製品販売を展開し、海外ネットワークと専門人材により安定的な調達体制を構築している。

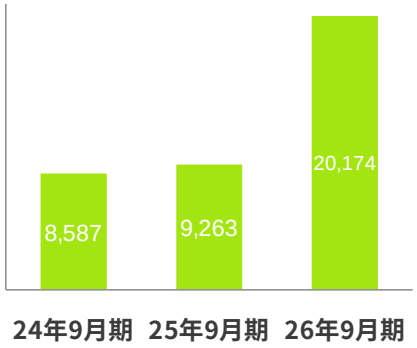


Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

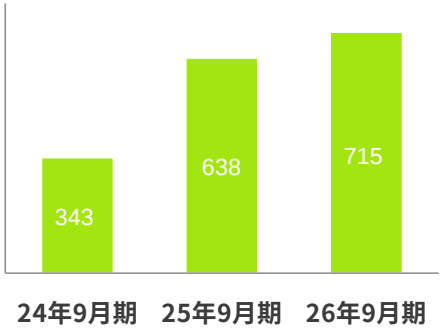
アグリソリューション事業

02 売上/営業利益の推移

■売上高（単位：百万円）



■営業利益（単位：百万円）



03 今後の課題、重点取り組み項目

■販売ルート多角化に向けた新規顧客の開拓

■栽培農作物以外の新規事業での売上構築
（加工品、仕入野菜、中古農機販売等）

■農業ベンチャー企業と連携したDX化の促進

■安定した材料調達先の確保

■生産効率の向上、製品ラインナップの拡充

【中期目標】



NEW

（2027年3月期）
太陽肥料、イチネンMAC、
エムシー・ファーティコムが
グループに加入し、
事業規模を更に拡大

日東エフシー加入
事業規模を
大幅に拡大

農地拡大
６次化

自動化
（AI、ロボット）

【社会課題の解決へ】
・食への安全意識向上
・農業人口の減少
・耕作放棄地の増加
・食糧自給率の低下
・地域の活性化

2016年
農業に参入

自動車リース関連
事業に次ぐ
主力事業の一つに
成長させる

日高村



南国市



ピーマン

肥料





➡高知県は全国第三位のピーマン産地
（栽培に適した土地）

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

アグリソリューション事業（セグメントSWOT分析）

Strengths（強み）

■次世代型大規模ハウスにより安定的な農作物の供給が可能
■肥料事業において、原材料の調達から製造・包装・出荷まで一貫した生産体制を構築
■自社の土壌分析設備、試験圃場等を活用した生産者への栽培指導

Weaknesses（弱み）

■市場単価によって農作物の販売価格が大きく影響される
■肥料事業は全農の価格設定によって販売価格が大きく影響される

Opportunities（機会）

■農業のDX化による農作物の栽培の更なる効率化
■企業による農業の大規模化に対応した肥料の拡販、当社シェア拡大
■液体肥料、当社が強みを持つ樹脂不使用の緩効性肥料の更なる販売強化

Threats（脅威）

■農作物の生産における原材料のさらなる価格の高騰（燃料代、資材費等）
■国内農家数の減少や耕地面積減少に伴う肥料需要の長期的な減少トレンド

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 3.イチネングループの事業紹介

04 **4.決算報告・今期計画**

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 2Q連結業績

（百万円）	26年度２Q実績 金額	26年度２Q実績 構成比	27年度２Q実績 金額	27年度２Q実績 構成比	前年同期比	27年度２Q計画（※）	計画比
売上高	80,671	100.0%	94,936	100.0%	117.7% ↗	92,147	103.0% ↗
売上総利益	18,046	22.4%	20,033	21.1%	111.0% ↗	19,394	103.3% ↗
販売管理費	11,999	14.9%	13,237	13.9%	110.3% ↗	13,941	95.0% ↘
営業利益	6,046	7.5%	6,796	7.2%	112.4% ↗	5,453	124.6% ↗
経常利益	6,205	7.7%	6,764	7.1%	109.0% ↗	5,136	131.7% ↗
親会社株主に帰属する中間純利益	4,339	5.4%	8,898	9.4%	205.1% ↗	7,994	111.3% ↗

※27年度2Q計画数値は、2026年8月5日に公表した連結業績予想に基づいております。

【27年度２Q ハイライト】

■自動車リース関連は、契約台数が順調に推移したほか、リース満了車処分の販売単価上昇も業績アップに寄与
■ケミカル・パーキング・機械工具販売・アグリソリューションは、販売好調を維持
■太陽肥料、イチネンMAC、エムシー・ファーティコムの株式取得に伴い、負ののれん発生益を特別利益に計上

売上高・各段階利益が好調に推移し、いずれも過去最高を更新

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 2Qセグメント別業績（前年比）

（百万円）		26年度 2Q実績	27年度 2Q実績	前年比		増減要因(※)
自動車リース関連	売上高	32,483	33,419	+935	+2.9%	[+] 車両リースは契約台数が順調に推移（売＋542、粗利＋129） [+] 満了車処分は販売単価が高値で推移（売＋148、粗利＋246） [△] 燃料販売は単位粗利が低下（売△185、粗利△156）
	営業利益	3,700	3,904	+203	+5.5%	
ケミカル	売上高	5,864	6,639	+774	+13.2%	[+] 中東情勢を背景とした買込み需要の影響もあり、自動車整備工場・機械工具商向けケミカル製品の販売が好調（売＋566、粗利＋197）
	営業利益	605	784	+178	+29.6%	
パーキング	売上高	4,038	4,245	+206	+5.1%	[+] 新規駐車場の開発、既存駐車場の収益改善活動効果で増加
	営業利益	709	778	+69	+9.8%	
機械工具販売	売上高	19,198	20,159	+961	+5.0%	[+] 自動車部品・産業資材の販売が順調（売＋495、粗利＋96） [+] 空調工具・計測工具の販売が順調（売＋325、粗利＋105）
	営業利益	281	555	+274	+97.5%	
合成樹脂	売上高	9,144	9,897	+752	+8.2%	[+] 遊技機メーカーへの製品売上が増加（売＋372、粗利＋55） [+] 半導体実装装置メーカー等へのセラミックヒーターの販売が好調（売＋165、粗利＋59）
	営業利益	△9	70	+79	-	
アグリソリューション	売上高	9,263	20,174	+10,910	-	[+] 中東情勢を背景とした秋肥需要の前倒しに加え、新規連結子会社の業績も寄与し、肥料製品の販売は順調に推移（売＋10,795、粗利＋1,101）
	営業利益	638	715	+77	+12.1%	
その他	売上高	1,218	1,034	△183	△15.1%	[△] ガラス製品の販売が減少
	営業利益	110	△18	△129	-	
調整額	売上高	△542	△634	△92	-	（セグメント間取引消去）
	営業利益	10	5	+5	-	
連結合計	売上高	80,671	94,936	+14,265	+17.7%	
	営業利益	6,046	6,796	+749	+12.4%	

※増減要因は売上高・営業利益ともに内部消去前の金額です。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 2Qセグメント別業績（計画比）

（百万円）		27年度2Q計画（※1）	27年度2Q実績	計画比		増減要因(※2)
自動車リース関連	売上高	31,914	33,419	+1,505	+4.7%	[+] 満了車処分・車両販売は販売単価が高値で推移（売＋1,006、粗利＋640）
	営業利益	3,106	3,904	+798	+25.7%	
ケミカル	売上高	6,252	6,639	+387	+6.2%	[+] 中東情勢を背景とした買込み需要の影響もあり、自動車整備工場・機械工具商向けケミカル製品の販売が好調（売＋369、粗利＋114）
	営業利益	571	784	+213	+37.3%	
パーキング	売上高	4,251	4,245	△5	△0.1%	[−] 駐車場の解約等により純増件数・純増台数は計画ほど伸びなかったが、既存駐車場の継続的な収益改善活動の効果もあり、利益は計画を上回った
	営業利益	738	778	+40	+5.5%	
機械工具販売	売上高	21,225	20,159	△1,065	△5.0%	[△] 建設機械部品の販売は順調に推移（売＋252、粗利＋14） [△] 自動車部品・産業資材・DIY用品等の販売が計画を下回った（売△916、粗利△123）
	営業利益	514	555	+41	+8.1%	
合成樹脂	売上高	12,529	9,897	△2,631	△21.0%	[△] 遊技機メーカーへの製品売上が計画未達（売△1,855、粗利△267） [△] タイにおける自動車市場の低迷を背景に、自動車用内外装部品の販売が計画未達（売△731、粗利△265）
	営業利益	403	70	△332	△82.4%	
アグリソリューション	売上高	15,264	20,174	+4,910	+32.2%	[+] 中東情勢を背景とした秋肥需要の前倒し及び肥料価格改定の影響により、販売数量・販売単価がともに順調に推移し、計画を上回った（売＋4,836、粗利＋665）
	営業利益	57	715	+658	-	
その他	売上高	1,255	1,034	△220	△17.5%	[△] ガラス製品の販売が減少した影響で計画未達
	営業利益	58	△18	△76	-	
調整額	売上高	△543	△634	△91	-	（セグメント間取引消去）
	営業利益	6	5	△0	-	
連結合計	売上高	92,147	94,936	+2,789	+3.0%	
	営業利益	5,453	6,796	+1,343	+24.6%	

※1　27年度2Q計画数値は、2026年8月5日に公表した連結業績予想に基づいております。

※2　増減要因は売上高・営業利益ともに内部消去前の金額です。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 2Q連結貸借対照表 （百万円未満切捨）

■資産の部

単位：百万円	2026年3月	2026年9月	増減額
流動資産	97,826	124,612	+26,785
受取手形、売掛金及び契約資産	20,867	26,397	+5,530
リース債権及びリース投資資産	33,685	34,505	+819
商品及び製品	14,467	25,009	+10,542
固定資産	113,690	121,468	+7,777
賃貸資産	63,946	64,153	+207
土地	17,921	20,265	+2,344
繰延資産	86	67	▲18
資産合計	211,603	246,148	+34,544

■負債の部

単位：百万円	2026年3月	2026年9月	増減額
流動負債	67,884	88,178	+20,293
支払手形及び買掛金	15,793	19,992	+4,198
短期有利子負債	39,438	52,610	+13,172
固定負債	71,574	77,428	+5,854
長期有利子負債	67,485	71,852	+4,366

■純資産の部

純資産合計	72,145	80,541	+8,396
利益剰余金	64,127	72,031	+7,904
負債･純資産合計	211,603	246,148	+34,544

≪資産の部≫

- 「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加　55億30百万円
- 「商品及び製品」の増加　105億42百万円
- 「原材料及び貯蔵品」の増加　16億83百万円
- 「土地」の増加　23億44百万円

≪自己資本比率≫

- 2026年9月期の自己資本比率32.3%　⇒中期数値目標は、自己資本920億円超、自己資本比率40%超

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 2Q連結キャッシュ・フロー等 （百万円未満切捨）

■キャッシュ・フロー

単位：百万円	2024年9月	2025年9月	2026年9月	前期比増減額
営業活動	4,726	3,880	1,390	▲2,490
投資活動	▲944	▲1,158	▲2,343	▲1,184
財務活動	4,318	▲3,670	1,860	+5,531

・営業活動によるキャッシュ・フロー：＋13億90百万円
（主な要因）⇒「税金等調整前中間純利益」：+112億29百万円、「減価償却費」：+98億56百万円、
「負ののれん発生益」：△46億95百万円、「売上債権の減少」：+153億93百万円、「棚卸資産の減少」：＋10億85百万円、
「リース債権及びリース投資資産の増加」：△12億8百万円、「賃貸資産の増加」：△84億54百万円、
「未収入金の増加」：＋31億93百万円、「仕入債務の減少」：△133億47百万円、「法人税等の支払額」：△27億94百万円

・投資活動によるキャッシュ・フロー：△23億43百万円
（主な要因）⇒「有形及び無形固定資産の取得による支出」：△20億58百万円

・財務活動によるキャッシュ・フロー：＋18億60百万円
（主な要因）⇒「借入れによる収入」：+500億90百万円、「コマーシャル・ペーパーの増加」：+30億円、
「借入金の返済による支出」：△449億56百万円、「社債の償還による支出」：△51億円、「配当金の支払額」：△9億94万円

■設備投資・減価償却

単位：百万円	2024年9月	2025年9月	2026年9月	前期比増減額
設備投資	10,044	10,850	11,598	+747
うちリース資産	8,934	9,124	9,279	+154
減価償却	9,208	9,453	9,856	+402
うちリース資産	7,997	8,249	8,390	+141

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 3.イチネングループの事業紹介

04 4.決算報告・今期計画

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 計画（連結） 【2026年8月5日公表数値】（百万円未満切捨）

単位：百万円		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期計画	前期比の主な増減要因
売上高	自動車リース関連	61,361	64,135	63,861	前期に燃料給油カード及び車両販売の販売単価が好調だったことによる反動減
	ケミカル	11,854	12,082	12,806	新規顧客の開拓、脱炭素を見据えた新製品の開発、海外展開強化
	パーキング	7,905	8,169	8,597	新規駐車場の開拓、既存駐車場の継続的な収益改善、 設備リニューアルによる稼働率向上
	機械工具販売	36,085	38,019	42,866	高単価・高収益商材の販売強化、ネット販売強化、海外展開強化
	合成樹脂	19,026	19,029	22,349	次世代型遊技機向け部材の提案・販売強化、リサイクル樹脂等の販売強化、 自動車用内外装部品の販売強化、新規事業分野への参入
	アグリソリューション	17,578	19,635	53,186	農作物の収穫量増加、農作物の加工品開発の強化など 新規連結した太陽肥料、イチネンＭＡＣ、エムシー・ファーティコムの業績寄与
	その他	2,153	2,358	2,591	
	調整額	▲1,044	▲1,176	▲1,185	
	合 計	154,920	162,254	205,071	
営業利益	自動車リース関連	6,547	6,769	5,707	前期に燃料給油カード及び車両販売の販売単価が好調だったことによる反動減
	ケミカル	848	1,061	1,228	新規顧客の開拓、脱炭素を見据えた新製品の開発、海外展開強化
	パーキング	1,265	1,436	1,456	新規駐車場の開拓、既存駐車場の継続的な収益改善
	機械工具販売	▲141	251	1,007	高収益な自社オリジナル商品の販売強化、ネット販売強化、海外展開強化
	合成樹脂	336	▲170	644	次世代型遊技機向け部材の提案・販売強化、リサイクル樹脂等の販売強化、 自動車用内外装部品の販売強化、新規事業分野への参入
	アグリソリューション	1,168	1,453	2,019	前期に肥料製品の販売単価が好調だったことによる反動減 新規連結した太陽肥料、イチネンＭＡＣ、エムシー・ファーティコムの業績寄与
	その他	236	100	161	
	調整額	19	24	13	
	合 計	10,279	10,926	12,235	
経常利益		10,318	10,998	11,342	
親会社株主に帰属する当期純利益		6,657	7,652	11,903	太陽肥料、イチネンＭＡＣ、エムシー・ファーティコムの株式取得に伴い、 負ののれん発生益4,720百万円を特別利益に計上
株主資本利益率（ＲＯＥ）		10.65%	11.24%	15.57%	同上
総資産経常利益率（ＲＯＡ）		5.06%	5.28%	5.19%	

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 四半期セグメント別利益計画（百万円未満切捨）

単位：百万円		第１四半期	第２四半期（累計）	第３四半期（累計）	第４四半期（累計）
自動車リース関連	売上高	16,072	31,914	48,244	63,861
	売上総利益	3,250	6,752	9,525	12,932
	営業利益	1,430	3,106	4,103	5,707
ケミカル	売上高	3,018	6,252	9,663	12,806
	売上総利益	1,237	2,569	3,912	5,183
	営業利益	226	571	916	1,228
パーキング	売上高	2,098	4,251	6,441	8,597
	売上総利益	577	1,183	1,792	2,344
	営業利益	356	738	1,128	1,456
機械工具販売	売上高	10,464	21,225	32,042	42,866
	売上総利益	2,007	4,082	6,023	8,068
	営業利益	185	514	678	1,007
合成樹脂	売上高	6,236	12,529	17,819	22,349
	売上総利益	1,281	2,470	3,671	4,709
	営業利益	252	403	616	644
アグリソリューション	売上高	6,726	15,264	32,159	53,186
	売上総利益	1,285	2,062	4,304	7,122
	営業利益	644	57	806	2,019
その他	売上高	599	1,255	1,937	2,591
	売上総利益	156	359	574	780
	営業利益	0	58	105	161
調整額	売上高	▲267	▲543	▲889	▲1,185
	売上総利益	▲43	▲83	▲126	▲168
	営業利益	1	6	10	13
合　計	売上高	44,946	92,147	147,416	205,071
	売上総利益	9,750	19,394	29,675	40,970
	営業利益	3,094	5,453	8,362	12,235

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 3.イチネングループの事業紹介

04 4.決算報告・今期計画

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

株主還元について

株主還元方針

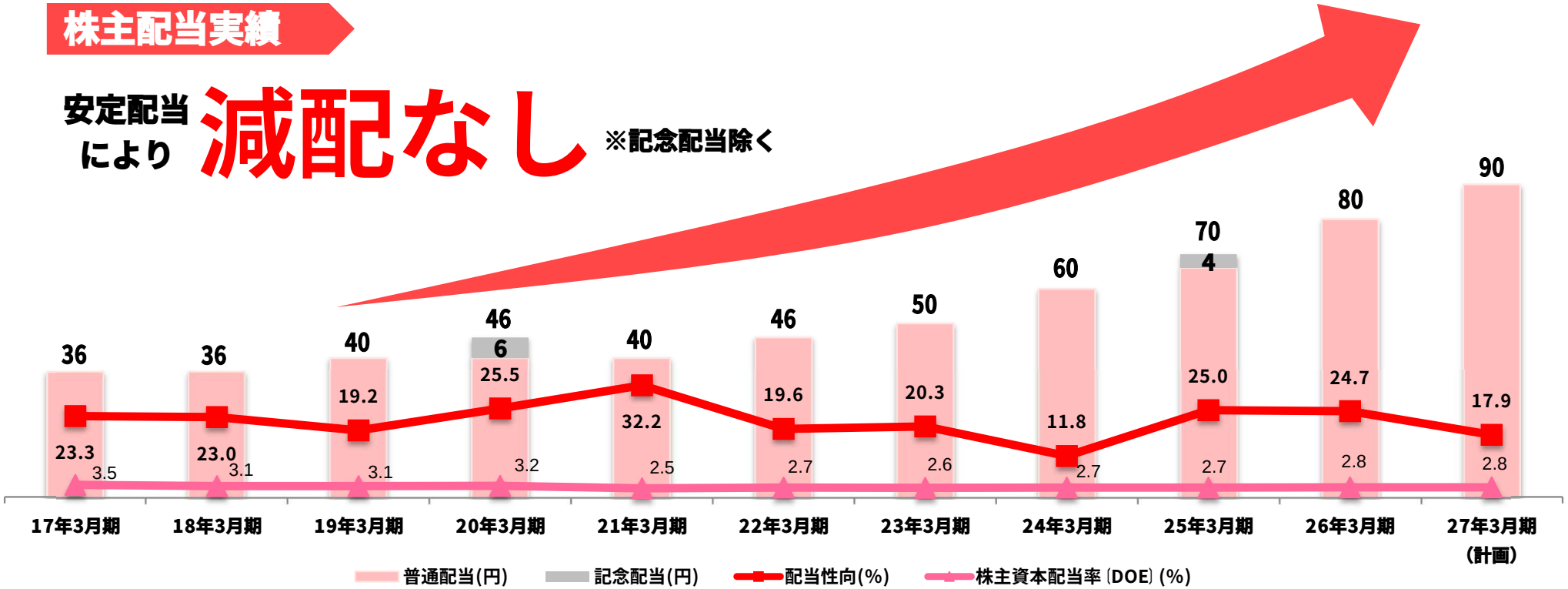
配当性向20%～30%程度を目安に、安定的な配当の実施を目指します

1株あたりの配当金（予想）

中間期末	期　末	年　間
増配 45円	増配 45円	90円

株主配当実績

安定配当により **減配なし** ※記念配当除く



当社は2023年3月末日時点の株主名簿に記載された株主様への贈呈をもって、株主優待制度を廃止いたしました。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

株価について

直近の株価

2,702 円

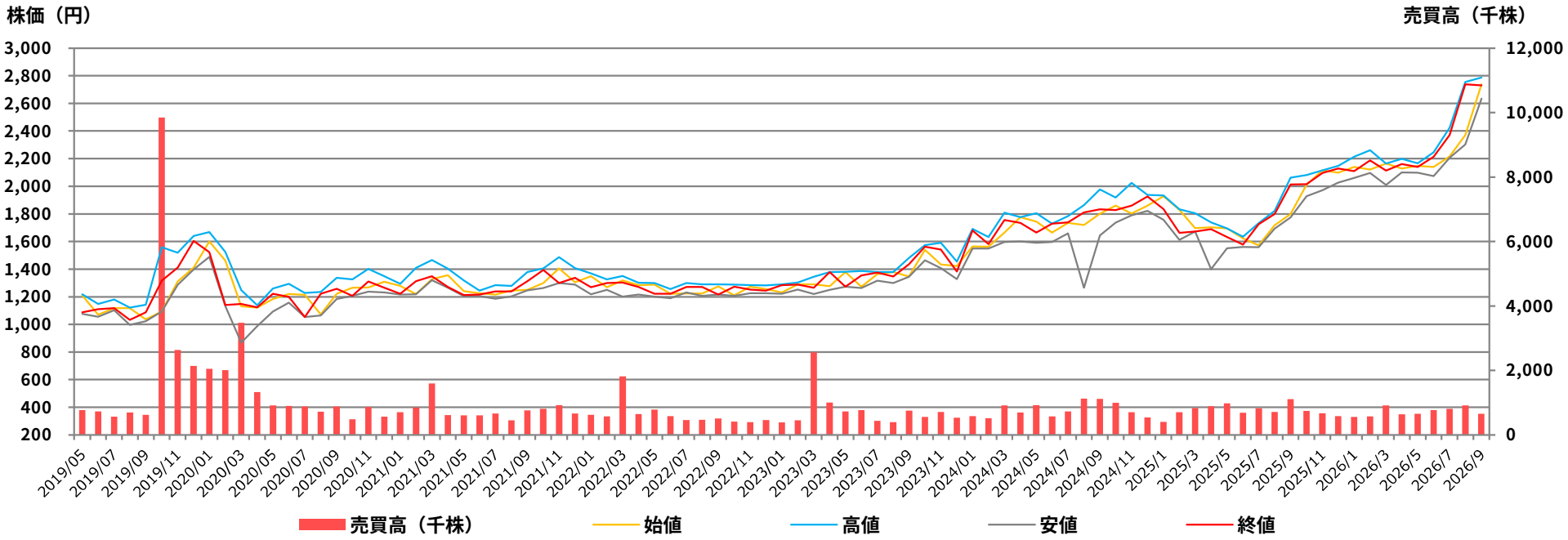
※11月4日終値ベース

その他指標

※11月4日終値ベース

時価総額	642億円
配当利回り	3.33%
PBR	0.82倍

株価の推移



※株価及び売買高の表示は月次ベースです。（株価は月末時点の数値、売買高は月の売買高の合計）

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

01 1.イチネングループについて

02 2.イチネングループが向かうところ

03 3.イチネングループの事業紹介

04 4.決算報告・今期計画

05 5.株主還元について

06 6.参考資料

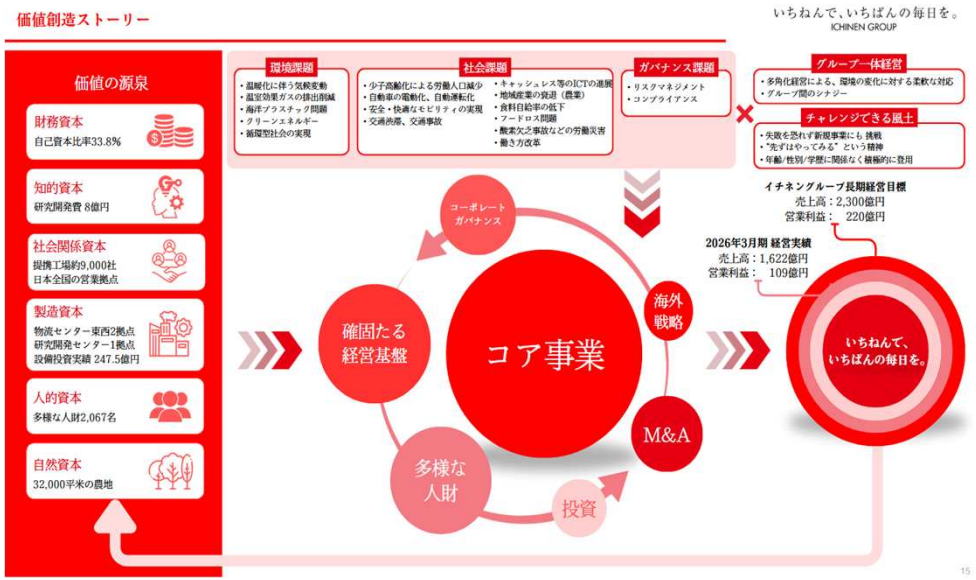
Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

統合報告書・TCFDレポート発刊のご案内

◇統合報告書

東証プライム上場企業として、非財務情報の開示を一層強化するため、2021年よりグループ横断の社内プロジェクトを組成し、統合報告書の制作を進めてまいりました。
2026統合報告書では、掲載内容やデザインを刷新し、より分かりやすく当社グループの価値創造ストーリーをお伝えできる内容へとリニューアルいたしました。
イチネングループの企業価値創造に向けた取り組みを掲載しておりますので、下記URLより是非ご覧ください。

統合報告書掲載サイト
https://www.ichinenhd.co.jp/ir/library6/



◇TCFDレポート

2021年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードにより、東証プライム上場企業には、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の枠組みに基づいた気候変動問題に対する情報開示が求められています。
現状において、当社グループが認識している気候変動問題に係るリスク、機会、並びにそれらへの対応策等について、『イチネングループTCFDレポート』として取りまとめましたので、是非下記URLよりご覧ください。

TCFDレポート掲載サイト
https://www.ichinenhd.co.jp/environment/tcfd/



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料：環境問題への取り組み

イチネングループは**多様な事業展開**を強みとして、**様々なソリューション**により**環境問題の解決に貢献**します

環境問題の分類	解決すべき課題	イチネングループのソリューション
気候変動	温室効果ガスの増加 オゾン層の破壊	**◆CO2排出量の削減に貢献** **【自動車リース関連事業】** ◆「イチネンテレマティクス」の販売によるエコドライブの推進（P.57参照） **【パーキング事業】** ◆駐車場の開発促進による交通渋滞緩和（P.56参照） **◆オゾン層の破壊防止に貢献** **【機械工具販売事業】** ◆「冷媒回収装置」の開発、販売によるフロンガスの漏洩防止（P.56参照）
海洋汚染	プラスチックごみの海洋流出 （マイクロプラスチック問題）	**◆プラスチック使用量の削減に貢献** **【ケミカル事業】** ◆汎用樹脂用バイオマス添加剤「ONEバイオ」の開発、販売（P.56参照） **【合成樹脂事業】** ◆自社ブランドのリサイクル樹脂の開発、販売（P.56参照） **【アグリソリューション事業】** ◆被覆肥料を使用しない環境にやさしい肥料の開発、販売（P.56参照）

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料：ESG･SDGsの取り組み

E Environment［環境］

■ケミカル事業：脱炭素社会に貢献するバイオマス添加剤について

イチネンケミカルズは、長年にわたる火力発電向け燃料添加剤の製造技術・経験を応用して、**バイオマス発電向けの燃料添加剤「バイオトニックシリーズ」**を展開しております。

また、新たに開発した**汎用樹脂向けバイオマス添加剤「ON E バイオ」**は、汎用樹脂（PE･PP)ペレットに混ぜることで、製品の原料の一部を植物由来原料とすることができ、脱炭素社会の実現に貢献できる製品となっています。

Plastics Smart
バイオマス添加剤
ONE バイオシリーズ
汎用樹脂(PP･PE)向けバイオマス添加剤

イチネン ケミカルズ ONE BIO B-001

■機械工具販売事業：オゾン層保護･地球温暖化防止大賞　受賞!

オゾン層保護対策と地球温暖化防止や対策の促進を目的として、日刊工業新聞社が毎年実施している「オゾン層保護･地球温暖化防止大賞」において、イチネンTASCOの「冷媒回収装置"クワトロ"TA110VF」が「経済産業大臣賞」を受賞いたしました。



【改善点】

･パワフルな4ピストンコンプレッサーや独自の運転切替機能をはじめとした数々の技術･機能により、残存フロン回収の能力を向上。

■パーキング事業：交通渋滞緩和による環境負荷の低減

駐車場不足は違法駐車を引き起こす一因であり、違法駐車は交通渋滞や交通事故などに繋がります。駐車場の開発を推進することで、交通渋滞緩和による環境負荷の低減を実現します。



■アグリソリューション事業：被覆肥料を使用しない環境にやさしい肥料について

日東エフシーは、栽培後に被覆尿素の殻（プラスチック）が残ることが無く、環境にやさしい省力栽培を可能にする肥料を展開しております。

･エコフレンズN20
･テンポロン（政令指定土壌改良資材）など





■合成樹脂事業：リサイクルペレットの製造/販売

イチネン製作所は、企業から排出されるプラスチックゴミからリサイクルペレットを製造、販売しており、リサイクル材では難しい『自社ブランドの規格品』を揃え、"モノづくり"を行うメーカー企業様を中心に広くご提供できる体制を整えております。



リサイクル案件は環境問題への貢献に繋がる事業であり、積極的に推進いたします。

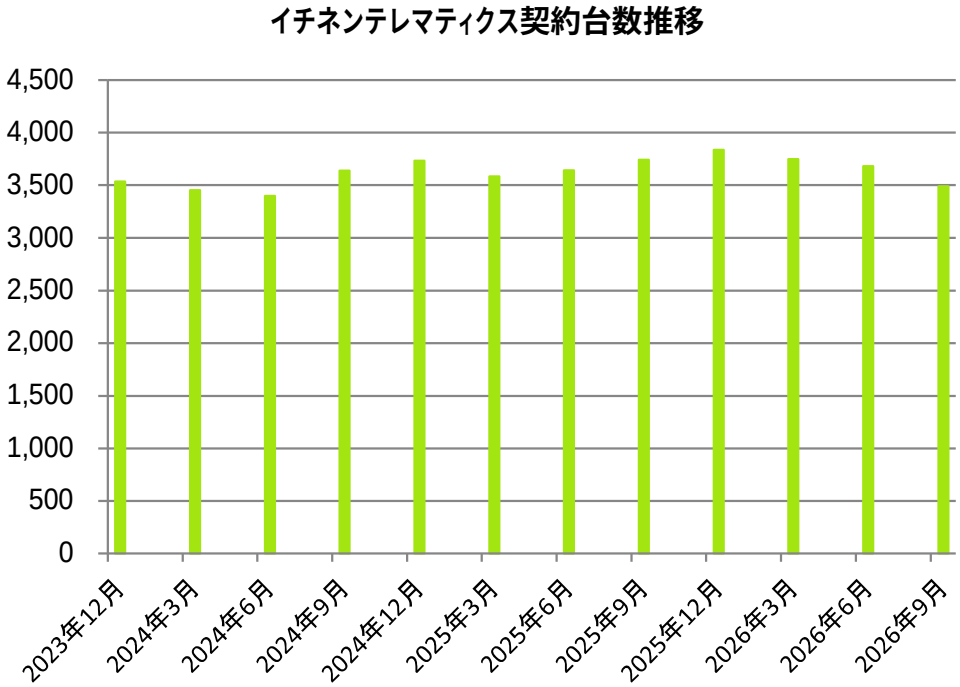
Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料：ESG･SDGsの取り組み

S Society [社会]

■自動車リース関連事業：イチネンテレマティクスによる交通事故撲滅のご提案

2015年よりイチネンテレマティクス(車載端末を活用した情報サービス)の販売を開始し、リース車両の商談ではテレマティクスによる交通事故撲滅の提案を推進しております。テレマティクスから得られた情報を基に、ドライバーの安全運転管理・教育を行い、お客様の交通事故削減を目指します。また、エコドライブへの意識向上により燃費が改善し、CO2削減が期待されます。



■農業を通じた地域貢献

日本の誇るべき農業を通じて雇用を促進させ、地域コミュニティとの連携も行い、地域活性化に貢献できるよう努力し、
安全、安心、そして美味しい野菜をお届けします。
さらに、農場では海外からの技能実習生も受け入れており、
途上国への技術の移転や普及に農業を通じて貢献できるよう
取り組んでまいります。



Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料：ESG･SDGsの取り組み

G Governance [企業統治]



■取締役会の監督機能強化および多様性の強化

女性取締役比率
22.2%
(2026年6月17日時点)

男性取締役	女性取締役
7名	2名

社外取締役比率
44.4%
(2026年6月17日時点)

社内取締役	社外取締役
5名	4名

取締役及び監査役 (2026年6月17日現在)

代表取締役社長	黒田 雅史
取締役副社長	黒田 勝彦
取締役 常務執行役員	村中 正
取締役 常務執行役員	井本 久子
取締役	木村 平八
取締役（社外）	廣冨 靖以
取締役（社外）	川村 群太郎
取締役（社外）	常陰 均
取締役（社外）	宮口 亜希
常勤監査役	足立 広志
常勤監査役（社外）	青山 俊治
常勤監査役（社外）	奥田 雅輝
監査役（社外）	中川 一之

■コンプライアンス･リスク管理体制

当社グループは、法令遵守とリスク管理を持続的成長の基盤と位置付けています。予防的視点での発生防止と、戦略的視点での適正管理を両立し、子会社を含む全社で情報共有と迅速な対応を実施しています。



◆ 基本方針
- ◆ リスク＝予期せぬ損失の可能性と定義
- ◆ 発生防止･許容範囲での制御を徹底
- ◆ リスク管理を経営の重要課題として位置付け

◆ リスク対応の区分
- ◆ 極小化すべきリスク（事務･システム等）は防止策を強化
- ◆ 引き受けるリスク（投融資等）は自己資本等を踏まえ適正水準に制御

◆ 管理体制
- ◆ 内部管理体制を整備し、全社的に実行
- ◆ 子会社のリスクは担当役員、所管部門、コンプライアンス･リスクマネジメント委員会が連携し指導･助言

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料：知名度向上戦略



- 2014年10月より、全国ネットでテレビCMを放映しております。
- 当社の事業は、これまでのBtoB中心の領域からBtoCの領域に広がっており
- “イチネン”の知名度向上により、更なる事業拡大を図ります。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

太陽肥料株式会社のご紹介

01 太陽肥料株式会社 会社概要



■太陽肥料株式会社
TAIYO FERTILIZER CO.,LTD.
■ 代表取締役社長 木村 平八
■ 創立 1936年5月22日
■ 本社 茨城県神栖市砂山４番地
■ 資本金 300百万円
■ 売上高 3,511百万円（2025年6月期）

02 製品紹介

● 作物・使用時期・使用用途に合わせた各種肥料



石灰窒素入り化成肥料



有機入り化成肥料



緩効性窒素入り
化成肥料


被覆尿素入り
粒状配合肥料



緩効性窒素入り
粒状配合肥料



過りん酸石灰



苦土過りん酸石灰



微量要素肥料

03 株式追加取得による完全子会社化の目的

太陽肥料は、国内において90年に亘り化成肥料、配合肥料、過りん酸石灰などを製造・販売しております。生産者に対する「施肥指導」として、土壌分析を行い、適切な肥料を使用できるよう支援を行うなど、農業現場における豊富な知見を有しております。
本件の株式追加取得に伴い、太陽肥料が持つ肥料製造のノウハウ及び技術力と、当社グループの日東エフシーグループが持つ技術力を融合することで、既存顧客に対する製品提案の幅を広げ、更なるシェア向上及び販売拡大に繋げてまいりたいと考えております。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

株式会社イチネンＭＡＣのご紹介

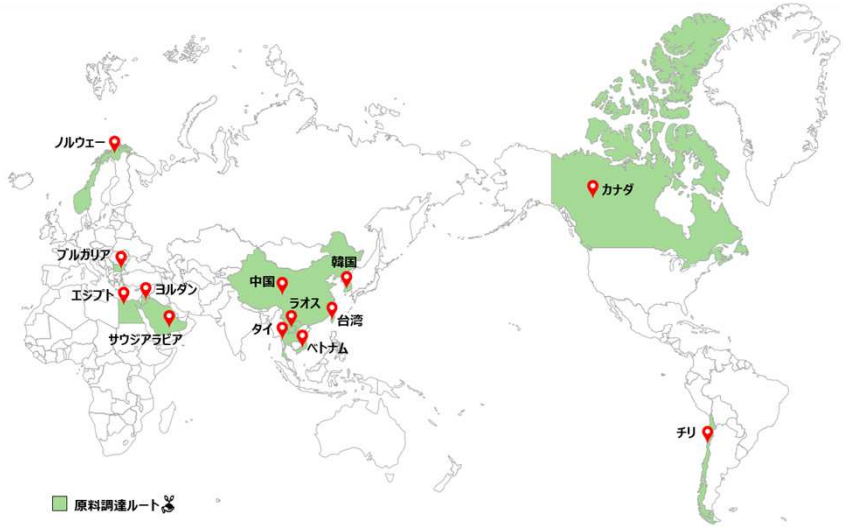
01 株式会社イチネンＭＡＣ 会社概要



■株式会社イチネンＭＡＣ
ICHINEN MAC CO., LTD.
■ 代表取締役社長 黒田 哲也
■ 創立 1989年10月2日
■ 本社 東京都千代田区麹町
■ 資本金 300百万円
■ 売上高 26,337百万円（2025年3月期）

02 競争優位性

● 10か国以上から安定的に原料を輸入



03 グループ化の目的

イチネンＭＡＣは、肥料原料の輸出入事業及び日本全国で肥料製品の卸売事業を展開しており、北海道から九州までの全国をカバーする営業拠点網を強みとしております。
本件の株式取得に伴い、イチネンＭＡＣが持つ多様な原料調達ルート、海外を含む幅広い販売ネットワーク、全国規模の営業基盤を活用することで、当社グループのアグリソリューション事業において、飛躍的な調達・購買力の向上と販売力の強化に繋がるものと考えております。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

エムシー・ファーティコム株式会社のご紹介

01 エムシー・ファーティコム株式会社 会社概要



■エムシー・ファーティコム株式会社
MC FERTICOM Co., Ltd.
■ 代表取締役社長 黒田 哲也
■ 創立 1966年5月27日
■ 本社 東京都千代田区麹町
■ 資本金 1,226百万円
■ 売上高 14,898百万円（2025年3月期）

03 グループ化の目的

エムシー・ファーティコムは、多種多様な肥料を自社で製造・販売しております。
本件の株式取得に伴い、エムシー・ファーティコムが持つ多様な製品ラインナップ及び機能性肥料を中心とした高い製品開発力と、当社グループの日東エフシーグループとのシナジーを発揮することで、これまで以上にお客様の幅広いニーズに応えられる製品提案力を実現し、業界における競争力の向上とシェアの拡大に繋げてまいりたいと考えております。

02 製品紹介

● 一般的な化成肥料や機能性肥料まで様々な種類の肥料



トモエ化成　肥実効　ダイヤロング　オキサミド入り化成



ダイヤアミノ　オルガニン　被覆肥料　ハイグリーン



ホスピタ　サンメイト　スーパーハイエース　やまぶき

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました。

ICHINEN HOLDINGS

【9619】

このプレゼンテーション資料には、現時点での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって、これらの計画・見通しとは異なる可能性があります。

Copyright © ICHINEN HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.